

令和元・2年度

地域と連携したキャリア教育推進事業

# キャリア形成育成プログラム 指導事例集



令和3年3月

青森県教育委員会



## はじめに

国の教育再生実行会議（第六次提言）では、「子供たちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く」、「今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い」といった他国の研究者による予測が紹介され、この問題提起は、日本でも無縁ではないと提言されています。

急速な経済社会の変化に応じて、職業の在り方が様変わりしている中で、生涯を通して社会で活躍していくためには、学校卒業までに身に付けた能力に加え、社会に出た後も学び続け、新たに必要とされる知識や技術を身に付けていくことが求められます。

このようなことを背景に、新学習指導要領においては、児童生徒が「学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」とされ、その際、「児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」が示されたところです。

県教育委員会では、生徒一人一人が、自らの生き方を考え、社会的・職業的に自立できるようにするため、小・中・高等学校及び特別支援学校から大学等への進学、就職や将来の生き方へのつながりを意識し、各校における系統的なキャリア教育の取組の推進を図る目的で、令和元年度から2年間にわたり「地域と連携したキャリア教育推進事業」を実施してきました。その中で、学校教育全体を通じたキャリア教育の実現を目的として高校教員等によるワーキンググループを組織し、「あおもりっ子キャリア・パスポート～明日への架け橋～」(以下「キャリア・パスポート」という。)を作成の上、ホームルーム活動におけるキャリア・パスポートを活用した実践の在り方等について検討を重ねてきました。

本事例集は、ワーキンググループメンバーが、キャリア・パスポートを活用した授業実践を行った内容を指導事例としてまとめたものです。各校においては、これまでの実践に加え、本事例集を活用しながら、より一層キャリア教育を推進していただくことを期待しています。

結びに、本事例集の作成に当たり、御協力いただきました県立高等学校の校長をはじめ、ワーキンググループメンバーの教員の方々に対して、心から感謝申し上げます。

令和3年3月

青森県教育庁

学校教育課長 長内修吾

## 目 次

### はじめに

- 1 1学年におけるキャリア・パスポートを活用した指導事例
  - (1) 総合学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
    - ◇ 今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】(高1-1)
    - ◇ 自分の未来を創り出そう！【創り出す力】(高1-4)
  - (2) 普通科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
    - ◇ 人とのつながりを考えよう！【つながる力】(高1-2)
  - (3) 普通科
    - ◇ 自分の行動を、将来に活かしていこう！【動く／生かす力】(高1-3)・・・・ 15
  
- 2 2学年におけるキャリア・パスポートを活用した指導事例
  - (1) 商業科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
    - ◇ 今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】(高2-1)
    - ◇ 人とのつながりを考えよう！【つながる力】(高2-2)
  - (2) 普通科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
    - ◇ 自分の行動を、将来に活かしていこう！【動く／生かす力】(高2-3)
    - ◇ 自分の未来を創り出そう！【創り出す力】(高2-4)
  
- 3 3学年におけるキャリア・パスポートを活用した指導事例
  - (1) 工業科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
    - ◇ 今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】(高3-1)
    - ◇ 人とのつながりを考えよう！【つながる力】(高3-2)
  - (2) 普通科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
    - ◇ 自分の行動を、将来に活かしていこう！【動く／生かす力】(高3-3)
    - ◇ 自分の未来を創り出そう！【創り出す力】(高3-4)
  
- 4 キャリア・パスポートを活用した成果と検証・・・・・・・・・・・・・・ 57
  
- 5 各校におけるキャリア教育推進に向けた特色ある取組事例
  - (1) 青森県立青森高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
  - (2) 青森県立弘前高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
  - (3) 青森県立十和田西高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
  - (4) 青森県立田名部高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
  - (5) 青森県立十和田工業高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
  - (6) 青森県立黒石商業高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
  - (7) 青森県立尾上総合高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

# 1 1学年におけるキャリア・パスポートを活用した指導事例

## (1) 総合学科

### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

#### ア 現状

本校では、自らの人生を力強く歩んでいけるように、さまざまな体験活動をキャリア教育として展開している。それぞれの活動の後で振り返り、発表の時間を設け、「わかったこと」「できたこと」を言語化し、自己肯定感を高め、「社会を生きぬく力」を身に付けさせることを本校のテーマとしている。

#### イ 課題

「社会を生きぬく力」の育成を標榜する本校のキャリア教育が、どのように生徒に生かされているのか、計るすべがないのが課題である。そこで、どの部分で効果が出ているのか、どの点を改善すべきなのかを計る指標として、キャリア・アンケートやキャリア・パスポート等の活用について模索する必要がある。

### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
4月	グループワークトレーニング
5月	<b>キャリア・パスポート</b> （自己を見つめる力）
6月	地域散策・清掃活動
7月	<b>キャリア・パスポート</b> （つながる力） 職業調べ、気になる職業発表会
9月	<b>キャリア・パスポート</b> （動く／生かす力） 体験型進路ガイダンス・生徒生活体験発表会
10月	文化祭の実施
11月	社会人ライフプラン講話、ライフプランの作成
12月	<b>キャリア・パスポート</b> （創り出す力） ライフプラン発表会
1月	<b>キャリア・パスポート</b> （1年間の振り返り）

### ③ キャリア・パスポートの指導事例

ア 今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】（高1－1）

(ア) ねらい

リフレーミングによって自分の長所に気づき、自己肯定感を高め、自分の将来を考える一助とする。

(イ) 授業の展開（45分授業）

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方、リフレーミングについて説明する。	リフレーミングとは、見方や表現を変えて言い直すことであると説明する。	5分
展開	「1 今の自分を見つめて書こう。」を記入する。	「自分のプラス面を見つけてみましょう。」の部分に、自分のマイナス面もあわせて記入するように指示する。	10分
	他者のマイナス面を言い換えて、プラス面に変える。	キャリア・パスポートを回収してランダムに配布する。他者のマイナス面をリフレーミングするよう指示する。	10分
	自分の知らなかった長所に気づく。残り部分を記入する。	キャリア・パスポートを回収し本人に返却する。	15分
まとめ	まとめと振り返り	2～3人に、気づいたこと、今後の目標などを発表してもらい、キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 今の自分を見つめて書こう。」（「自分のプラス面を見つけてみましょう。」）

- ・人見知り → 用心深い
- ・優柔不断 → よく考えて決められる
- ・あきっぽい → 好奇心旺盛
- ・動作が遅い → 丁寧
- ・感情的 → 表現力がある
- ・周りが見えない → 熱中することができる

「2 将来の夢や目標を書こう。」→「3 その夢や目標をもった理由を書こう。」

- ・日本語以外の言語を学びたい。  
→海外ドラマを見て興味をもったから。
- ・ご飯を食べられなかったり学校に行けなかったりする人の手助けをしたい。  
→テレビや新聞等で知って、何かしてあげたいと思ったから。

- ・美容系の仕事に就きたい。  
→人がきれいになるのが好きだから。
- ・ねふた絵師になりたい。  
→ねふたはカッコいいし、小さいころからの憧れだから。
- ・カッコよく生きたい。  
→悔いのない生き方をしたいから。
- ・資格を取り、好きな仕事に就けるようにする。  
→就きたい仕事ができるときに役に立つから。

「4 夢や目標を実現するために、今からやれることを具体的に書こう。」

- ・アルバイトをしてお金を稼ぐ大変さを知る。ボランティア活動を試みる。
- ・ねふたに関わることを小さなことでも試みる。
- ・自分は今、何をすべきか考えながら日々を生きる。
- ・資格について調べ、勉強する。

(エ) 工夫した点

- ・自己肯定感が低い生徒ほど自分の短所は容易に書けるが、長所については書くことができないと考えられる。そこで、長所が書けない生徒について、キャリア・パスポートの「自分のプラス面を見つけてみましょう。」の部分に、自分の短所を記入してもらったようにした。
- ・それを他者にリフレーミングしてもらい、自分の手元に戻ってきたときには短所が変わっているという展開にした。このときの発見や気づきを自己理解のきっかけとし、自分の将来を考える一助とした。

# □今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】



高1：令和 年 月 日( )①

## ① 今の自分を見つめて書こう。

今、夢中になっていること・もの  
 ゲーム、YouTube、毎週ランタン、音楽を聴く、マンガを読む

---

自分のプラス面を見つけてみましょう。  
 (例：何にでも首を突っ込む (マイナス) → 何にでも積極的 (プラス))  
 一つのことへのめりこむと、周りが見えなくなる。  
 ↓  
 周りが見えなくなるほど集中してる。


## ② 将来の夢や目標を書こう。(やってみたいこと、就きたい仕事、生き方など)

高校内に居る内にバイトをしたい、かっこよく住みたい

---



---



## ③ その夢や目標をもった理由を書こう。

高校生の内に社会とのつながりを持つてみたいから  
 悔いのない生き方をしたいから

---



---

## ④ 夢や目標を実現するために、今からやれることを具体的に書こう。

自分は今、何をすべきか考えながら  
 日々を生きる。

---



---



**発見♡ふるさと**

青森県の中から、好きな場所・人・ものを書こう。

たさねふた

---



---



---



---



# □今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】



高1：令和 2年 5月27日（水）①

## ① 今の自分を見つめて書こう。

今、夢中になっていること・もの

ドラマを見ること。

自分のプラス面を見つけてみましょう。

(例：何にでも首を突っ込む (マイナス) → 何にでも積極的 (プラス))

優柔不断 → よく考えて決めれる

## ② 将来の夢や目標を書こう。(やってみたいこと、就きたい仕事、生き方など)

お金持ちになって、ごはんを食べられなからたり、学校に行きたくても行けなからたり、お金に困っている人を、助けてあげたい。高校を卒業する。



## ③ その夢や目標をもった理由を書こう。

自分は、何もいいところが無いし、テレビとかで、学校に行きたいけど、行けない子が多い、自分なんかよりもそういう人のために何かしてあげたいと思った。

## ④ 夢や目標を実現するために、今からやれることを具体的に書こう。

バイトをして、お金を稼い大変さを知る。ボランティアに参加してみる。



### 発見♡ふるさと

青森県の中から、好きな場所・人・ものを書こう。

弘前公園

家

イ 自分の未来を創り出そう！【創り出す力】（高1－4）

(ア) ねらい

ライフラインチャート※を用いて、4月からの自分を振り返り、自分の特性を言語化する活動を通して来年度の展望を持つ。

(イ) 授業の展開（45分授業）

過程	内容	留意点等	時間
導入	今年度の行事やクラスに関わることなどを教師が振り返って話す。	クラスとしてできるようになったこと、成長したこと、みんなで取り組んだことなどを、生徒とやり取りしながら肯定的に話す。	5分
展開	ライフラインチャートについて説明し、作成させる。	教師の4月からのライフラインチャートを例として板書すると、生徒がこれから何をするのかイメージしやすい。	15分
	2人程度に自分のライフラインチャートを発表してもらう。	ライフラインチャートを板書してもらい、発表してもらう。	5分
	ライフラインチャートをもとに、キャリア・パスポートの記入を行う。	充実度が高い部分は、キャリア・パスポートの「2 高校1年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うこと」に書けることを伝える。	15分
まとめ	まとめと振り返り	体験・経験は人を成長させることを話す。 キャリア・パスポートを回収する。	5分

※ ライフラインチャート

縦軸を充実度や幸福度、横軸を時間（年齢）にしたグラフに、自分が生まれてから現在までの充実度を感じる出来事などを記入し、曲線で結んだもの。

本来は生まれてから現在に至るまでのグラフであるが、この授業では1年間の振り返りとして横軸を月（4月～）にして実施した。

(ウ) 生徒の記入例

「1 中学生の頃と比べて、高校生になってから変化したことを書こう。」

- ・授業が楽しいと思えるようになった。
- ・人に話しかけることができるようになった。
- ・朝、気合で起きられるようになった。
- ・学校に来るのが楽しくなった。

「2 高校1年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。」

- ・マスクを作った。生徒会に入った。文化祭の看板を作った。
- ・文化祭の準備でみんなと協力した。
- ・チャレンジカップ（競技大会）で、休んだ人の分まで出場したこと。
- ・クラス目標を筆で書いたこと。
- ・ほとんど遅刻しなかったこと。

「3 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。」

- ・みんな頑張って毎日学校に来ている。
- ・やることをしっかりやる。
- ・とにかく優しい。
- ・話を聞いてくれる。
- ・困っている人を積極的に助けにいくところ。

「4 高校2年生で、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。」

- ・日本語以外の言語を知る、覚える。
- ・アルバイトにチャレンジする。
- ・自分の好きなギターについて突き詰めていきたい。
- ・自分から人に話しかける機会を増やし、交友関係を広めていきたい。
- ・生徒会の仕事を頑張りたい。絵をたくさん描きたい。

(エ) 工夫した点

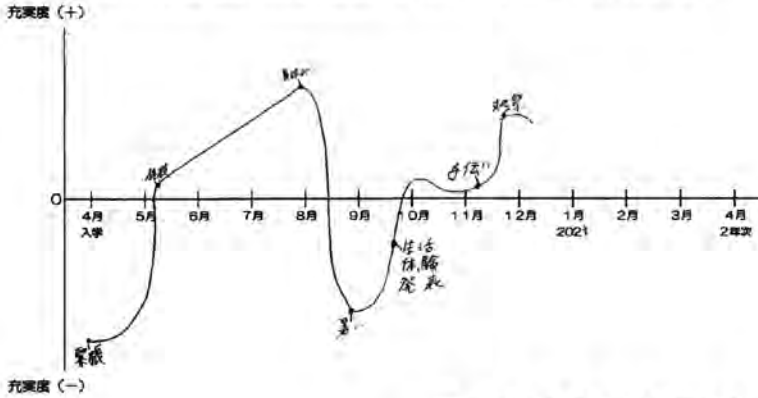
- ・生徒が振り返りをしやすいように、まずは教師が4月からの学校生活を振り返った。その後、生徒にライフラインチャートを説明し、それをを用いて4月からの学校生活を振り返らせ、充実度のグラフを作成させた。
- ・ライフラインチャートの充実度+で挙げられたことは、キャリア・パスポートの「1 中学生の頃と比べて、高校生になってから変化したことを書こう。」  
「2 高校1年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。」  
に書くことができる。そして、ライフラインチャートは、今年度を振り返った上で、来年度の展望を持つ手段としても有効に活用することができる。

キャリア・パスポート「自分の未来を創り出そう!」ワークシート

番号( ) 氏名( )

★ライフラインチャート

- ・キャリア・パスポートをもとに、今年度の充実度(+)(-)の出来事が何月なのか、充実度はどれくらいなのか、「+」を打ちましょう。
- ・「+」のわりに、その出来事がどのような出来事なのかメモをしよう。
- ・「+」と「-」とを線で結び、今年度の充実度グラフ(ライフラインチャート)を作りましょう。



□自分の未来を創り出そう!【創り出す力】

高1:令和2年12月2日(水)④

① 中学生の頃と比べて、高校生になってから変化したことを書こう。

・考え方が少し大人になった。  
 ・1.カリ勉強を取り組もうと思った。  
 ・授業が楽しいと思える様になった。

② 高校1年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。

・友達との準備でみんなと協力した。  
 ・生活体験発表がエスも緊張した。  
 ・宿題がないから余裕が多かった。

③ 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。

・やることはしっかりやる。  
 ・とてがと優しい。  
 ・楽しい時は楽しんでいる。



④ 高校2年生で、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。

挑戦したいこと 今のクラスを楽しいクラスにした  
 どのように 今後はみんな普通に会話したり笑ったりしてやる  
 ので、男女関係なく話せて行事や普段でも楽しくいられ  
 たらいいなと思ってる。

大人から励ましのメッセージ

保護者から  
 周囲をよく観察し他人の変化に早く  
 気がついてあげられ、誰に対しても平等に  
 接するところは、これからも変わらな  
 いて欲しいと思います。

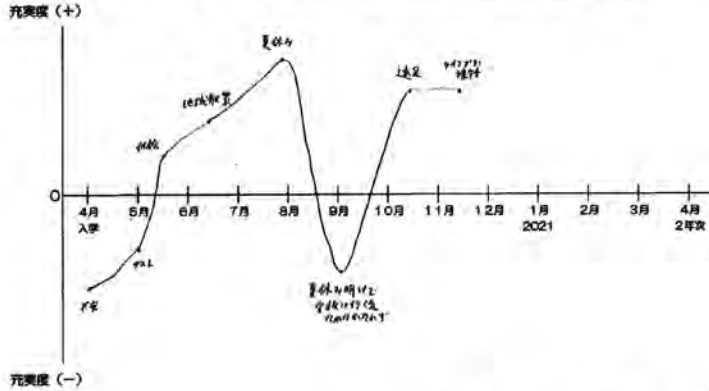
先生から  
 1人1人の成長を応援しています。上に書いた  
 決意もがんばり!これからますます頑張ります。  
 生活体験発表などは堂々と発表できて  
 いました。これが友達を大切に。

キャリア・パスポート「自分の未来を創り出そう！」ワークシート

番号( )氏名( )

★ライフラインチャート

- ・キャリア・パスポートをもとに、今年度の充実度(+)(-)の出来事が何月なのか、充実度はどれくらいなのか、「+」を打ちましょう。
- ・「+」のわりに、その出来事がどのような出来事なのかメモをしよう。
- ・「+」と「-」とを線で結び、今年度の充実度グラフ(ライフラインチャート)を作りましょう。



□自分の未来を創り出そう!【創り出すか】

高1:令和2年12月2日(水)④

① 中学生の頃と比べて、高校生になってから変化したことを書こう。



自分の意思で、しかり学校に来ると決め、前期は休み外の方、後期はほとんど毎日来れてること。

② 高校1年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。

・休校・初めての定期考査・地域献策・クラス目標を筆で書いたこと・遠足・学校に早く来れたこと・夏休み・ライフライン講習

③ 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。

どんな事にも真面目に取り組むこと出来ること



④ 高校2年生で、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。

挑戦したいこと 自分から人に声をかけよう機会を増やし、交友関係を広げていきたい。  
どのように

大人から励ましのメッセージ

保護者から

自分で目標を見つけ決めに事を実行に移しているのとても成長を感じ。家では話し話をほとんど聞く必要はない。よく話を聞いてくれるようにしてほしい。もう少し普通の学校の様子出来事を話してくれるようにしてほしいです!

先生から

教室の後ろに掲示しているクラス目標が私には大切で、よく書いて決意を実行し、学校に行こうという決意が普段の生活の様子からとても強く感じられます。高1-4 来年度はさらなる成長を期待します。

「心の成長」を認めてほしいと思えます

## (2) 普通科

### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

#### ア 現状

総合的な探究の時間（十和田・奥入瀬ガイド養成講座）での学習を通じて、観光業や地域資源活用・地域活性化についての理解を深めている。そのため観光分野などに進路を見いだす生徒も多い。また、全職員による個別指導（進路担当制）を行っており、3年生1人1人に対して、志望先の決定や面接指導を実施するなど、きめ細かな受験体制を構築している。

#### イ 課題

学校行事や進路行事は多いものの、実施した内容に見合うだけの振り返りの時間が少ない。個別指導（進路担当制）については、多様な進路志望の生徒を複数指導するため、一教員の負担が大きい。また、生徒の自宅での学習量が少ないため、進学・受験に対する雰囲気づくりや意識付けが難しいこと等が挙げられる。

### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
5月	<b>キャリア・パスポート（自己を見つめる力）</b>
6月	進路講演会の開催
7月	文化祭の実施 <b>キャリア・パスポート（つながる力）</b>
8月	大学見学会
9月	<b>キャリア・パスポート（動く／生かす力）</b> 秋祭りへの参加
10月	職業教育
12月	<b>キャリア・パスポート（創り出す力）</b>
1月	<b>キャリア・パスポート（1年間の振り返り）</b>
2月	職業人セミナー

### ③ キャリア・パスポートの指導事例

#### ア 人とのつながりを考えよう！【つながる力】（高1－2）

##### (ア) ねらい

文化祭が終わった時期に、行事を振り返ることによってクラス内での自分の居場所・役割を見いだす。また、クラスメイトを褒めることによって、周囲・他者に目を向けさせ、クラスの良い雰囲気づくりのきっかけとする。

文化祭などの学校行事を通じて、他者との関わりを意識し、人とのつながりの大切さを確かめる機会とする。

(イ) 授業の展開 (50分授業)

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	生徒を4人程度のグループに分けておく。	5分
展開	班員の文化祭中の行動で良かったところを付箋に記入する。  付箋を貼り付ける (各自が褒めた生徒のワークシートに貼り付ける)。	班員の良いところを探し、なるべく多くの点を具体的に褒めるように促す。  時間に余裕があれば、班ごとにそれぞれのメンバーの長所を話し合っても良い。	20分
	ワークシートを記入する。 キャリア・パスポートを記入する。	班員からのコメントを意識させる。  人とのつながりの中で生活していることを意識させる。	20分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。」

- ・父に学校の友達のことを相談した。
- ・テストの結果について話をした。
- ・文化祭について話をした。親は見に行きたがっていた。
- ・高校の文化祭は初めてだったが、楽しかったという話をした。
- ・九州での豪雨災害、河川の氾濫について話をした。

「2 (学校の) 友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。」

- ・文化祭でのカラオケ大会について、先輩の歌声や、友人の歌の感想。自分は友人が歌った歌が好きになった。
- ・〇〇先生が文化祭の場で結婚を発表したこと。
- ・文化祭の展示について。女装グランプリで誰に票を入れたか。来年のPR動画をどうするか。
- ・文化祭のクラス展示の準備の仕方や、当日の動きについて話をした。
- ・好きな人ができたか、など恋愛の話。

「3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。」

- ・ゴミ捨てる時に、おじさんやおばさんに挨拶をした。

- ・最近、高校会議所のメンバーになって、渡すギフトを友人と一緒に考えた。
- ・地域の道路掃除をした。
- ・新聞代金集金のおじさんと話をした。
- ・コロナで関われない。

「4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。」

- ・外国で働きたいと思っていたがコロナが広がり、外国に行くのが難しくなっているのので、分からなくなってきた。
- ・コロナの第二波が来ており、就職は難しそう。
- ・コロナで生活様式が変わり、家でテレワークになってすごく大変だと思った。
- ・コロナ感染者が増加し、将来就職する場所が減る可能性がでてきたと思った。
- ・ネット上での誹謗・中傷で自殺者が出た事件について、(自分でも)ネット上で顔が見えないからと言って、人の悪口を書いてはいけないと思った。

(エ) 工夫した点

- ・どこの学校でも、また誰もが同じような授業ができるような展開とした。キャリア・パスポートに加えて、ワークシートを作成・配付することにより、人とのつながりの大切さを強調した。そのことにより1時間の活動を無理なく実施できるようにした。(ワークシートについては画像を参照)



# □人とのつながりを考えよう！【つながる力】



高1：令和 2 年 7 月 13 日(月)②

- 📎 1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

文化祭楽しかったこと、みんなと騒いでいる人がいた。  
先生が結婚したこと

- 📎 2 (学校の)友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

誰と ○○○○さん

話題になった出来事 先輩の歌声や、○○○○さんの歌(カラオケ)の感想。  
その歌が自分には好きになった

- 📎 3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。

地域の人と関わった具体的内容



コロナ流行あまり関わってない

- 📎 4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。

出来事 たくさんの人との会話

思ったこと 将来は患者と接する機会が増えてくると思う。



- 1~4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。

人とたくさん話をして、コミュニケーションが大切だと思う。  
たくさんの人と話をしたい。

# □人とのつながりを考えよう！ワークシート



no. 15 氏名 \_\_\_\_\_

高1：令和 2年 7月 13日 (月) ②

📎 1 クラスメイトからのメッセージを貼ろう。

〇〇さん

- ・絵が上手い
- ・みんなをまとめる
- ・おもしろい
- ・かわいい
- ・歌が上手い

by 〇〇

クラス展示の準備。

委員会の仕事を一生懸命  
けんめいしていきすじり

黒板に書いて

羽の絵。

めっちゃ良かった！

- 優しい
- たまに！
- おもしろい
- 好き

📎 2 自分が文化祭で頑張ったこと、自分の長所を書こう。

- ・委員会での体育館装飾を頑張った。
- ・最後までやりぬきとおすこと。

📎 3 クラスメイトが文化祭で頑張ったこと、クラスの良いところを書こう。

- ・クラス展示で苦戦しながらも協力し合い、いいものができたこと。

📎 4 来年の文化祭に向けての課題を書こう。

- ・自分の意見を出すことや自分から進んで動くことが少なかったから来年は頑張りたい。

### (3) 普通科

#### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

##### ア 現状

一つ一つの行事や講演会、ゼミ活動など、明確に目的が設定されており、行事等の実施後には必ず自分自身が参加し取り組んだことにより、どのような力が身に付いたか、課題は何かを考えることができるよう、振り返る機会を設けている。

##### イ 課題

自分自身の振り返りはなされているが、課題解決のための原因分析や協働の在り方について、他者と共有したり、他者がどのような考えを持って行動しているのかを知る機会が少ない。

#### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
5月	キャリア・パスポート（自己を見つめる力）
6月	体育祭 職業ガイダンス
7月	文化祭 各種フィールドワーク
9月	キャリア・パスポート（つながる力）
10月	同窓会講演会 芸術教室
11月	キャリア・パスポート（動く／生かす力）
1月	キャリア・パスポート（創り出す力）
2月	キャリア・パスポート（1年間の振り返り）

#### ③ キャリア・パスポートの指導事例

##### ア 自分の行動を、将来に生かしていこう！【動く／生かす力】（高1－3）

###### (ア) ねらい

自己の課題を分析し、その解決に向けた取り組みを実践する。グループで個々の課題とその解決策を共有し、多様な考え方を身に付けさせる。

(イ) 授業の展開 (50分授業)

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいと進め方について説明する。	キャリア・パスポート、付箋(4枚)、A4白紙(1枚)を配付する。	5分
	キャリア・パスポートを記入する。 ・3ページ目を記入する。	個人思考させる。	10分
展開	グループ内で、記入した内容を発表する。 ・発表者一人について下記①②③を5分で行い、ローテーションする。 ①発表者は2分間でプレゼンテーションする。 ②聞き手は発表者への激励や助言を付箋に書く。 ③聞き手は順に内容を言葉で伝えながら付箋を発表者に渡す。	・4人グループを作らせ、発表順を決めさせる。 ・発表者が、2分間で発表しやすくなるよう、話の流れを板書・例示する。 ・発表を聞くときには、付箋に記入したりせず、発表者を見て、聞く姿勢になるよう指導する。	25分
まとめ	まとめと振り返り ・発表を聞いて参考にしようと思ったことや、助言してもらって気付いたこと等を付箋に記入し、キャリア・パスポートに貼る。 ・本時の活動を踏まえ、A4用紙に、三者面談用のプレゼン資料を作り、完成後に提出するよう指示する。	・他者との共有で感じたことを、言葉にしておくよう促す。 ・キャリア・パスポートを回収する。 ・保護者からの応援を得るために、目標や取り組みをプレゼンするよう励ます。	10分

(ウ) 生徒の記入例

「1 学習や生活の中で、『こうすればもっとよくなる』と考えていることを書こう。」

- ・もっと本を読む。色々な知識や考え方が身に付いたり、想像力が広がったり、生きる上でヒントになる。
- ・何かをするときに‘ながら’でやるのではなくそのことに集中する。
- ・自分の部屋の整理整頓→自分の頭の整理整頓。

「2 1 であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。」

- ・しっかりと計画を立て、前日に次の日にやることを確認する。
- ・スマホをやめる。
- ・スマホより夢中になれる趣味を探す。
- ・毎日勉強のルーティンを作って実行する。

「3 1、2 を踏まえて毎日の生活の中で、『自分で決めて、続けて取り組んでいること』を書こう。」

- ・英語に毎日ふれること。
- ・授業の間の時間は出来るだけ勉強する。
- ・スクリーンタイム制限する。
- ・12時までに寝る。
- ・毎朝5時に起きる。
- ・スマホのホーム画面にメモし、寝る前に明日の予定を考えてから寝る。

「4 『続けて取り組んでいること』が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、『新たに身に付けていきたいこと』を書こう。」

- ・自分で決めたことを実行して終わるまで、続けていく力を身に付けたい。
- ・自分の意見を持って会議に参加できるようにしたい。
- ・社会人になっても規則的な生活が身に付いていれば体調が安定すると思う。

(エ) 工夫した点

- ・自分の課題分析や解決策を発表し、それに対して他者から激励や助言を受けることで、自己肯定感を高めたり、自分一人では得られなかった考え方に触れられるようにした。また、付箋に他者への激励や助言を書くことで、他者を認め共感する姿勢を身に付けたり、より良い解決策を考えたりできるようにした。

【生徒が付箋に記入した他者への激励や助言例】

- ・YouTube を見ながら勉強するのがやめられないから共感した。スクリーンタイム制限するなんてすごい。
- ・帰宅途中に、帰ってからやることを決めればいいと思います！

【生徒が付箋に記入した振り返りや感想例】


- ・相手に話を振りながらプレゼンすると楽しい。
- ・コップのジュースを半分しかないと考えるか、半分もあると考えるか、ネガティブとポジティブな考えが変わると（グループの人から）教えてもらった。
- ・10分休み等の隙間時間を使って、授業の復習をするのが良いと思ったので、私も真似をしたい。
- ・ここで自分を正せるかが今後を左右するのもかも。頑張りたい。

- ・本時の内容を基に、自己の課題意識と解決策についてのプレゼン資料（A4 1枚）を作成し、冬休みに行う三者面談において、保護者の前でプレゼンテーションする。保護者にも課題を共有してもらい、応援してもらえるようにした。

# □自分の行動を、将来に生かしていこう！ 書く／生かすカ


- ① 1 学習や生活の中で、「こうすればもっとよくなる」と考えていることを書こう。

めりめりをし、かり物では、自分の時間とやらなければいけないと、  
時間を充実したものにできる。



- ② 2 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。

時間ねじを見直し、短くいいから計画を立ててから  
実行する。




- ③ 3 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、「自分で決めて、続けて取り組んでいること」を書こう。

寝る時間から逆算して勉強時間が確保できるように  
している。

- ④ 4 「続けて取り組んでいること」が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、「新たに身に付けていきたいこと」を書こう。

仕事と生活の充実につながる  
習慣化すること




## 発見・ふるさと

高森県の自慢できるものを書こう。  
自然、水

# □自分の行動を、将来に生かしていこう！【書く/生かす力】


① 1 学習や生活の中で、「こうすればもっとよくなる」と考えていることを書こう。

横性で Twitter や Youtube を見る時間を無駄にして勉強ができて  
 なくなったことがよくあるので、スマホの効果的な使い方を考える。



② 2 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。

- ・スクリーンタイムを気に多く使うアプリの時間制限をする。
- ・学習動画などを自分に合った使い方をする。
- ・最悪の場合親に預ける。




③ 3 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、「自分で決めて、続けて取り組んでいること」を書こう。

- ・6時間は寝るようになっている。
- ・毎日1回は映画を見る。

④ 4 「続けて取り組んでいること」が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、「新たに身に付けていきたいこと」を書こう。

社会人としての仕事をしたいとしても、規則的な  
 生活が身に付いているから体調が安定してほしい。

人に負配りかたで生きようとしたら



## 発見♡ふるさと

青森県の自慢できるものを書こう。

食べ物がおいしいこと

## 2 2 学年におけるキャリア・パスポートを活用した指導事例

### (1) 商業科

#### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

##### ア 現状

商業高校として専門教科の学習や資格取得に注力しており、また、地域との連携を大切にしている。特にボランティア活動や地域行事等へ積極的に参加しており、それらの活動を通して人間的成長が図られている。

##### イ 課題

キャリア教育に関わる様々な取組が行われているが、主管がそれぞれの分掌・学年になっており、体系的ではない。また、教員一人一人が「キャリア教育」の視点をもって取り組む意識が低い。

生徒の状況としては、与えられた課題には素直に取り組む生徒が多いが、自発的・主体的に課題を模索したり、解決のために行動したりする生徒は少ない。また、調査・学習した内容を文章化したり、プレゼンしたりすることに苦手意識が見られる。

#### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
4月	<b>キャリア・パスポート（自己を見つめる力）</b>
6月	進路講演会 科目選択説明会
7月	くろいし観光講座 <b>キャリア・パスポート（つながる力）</b> ※今年度は9月に実施
9月	文化祭 <b>キャリア・パスポート（動く／生かす力）</b>
11月	企業学校見学会
12月	運動会、競技大会 <b>キャリア・パスポート（創り出す力）</b>
1月	先輩による合格体験談 SDGsについての講座
3月	選挙出前講座 進路教室 <b>キャリア・パスポート（1年間の振り返り）</b>

※随時募集のあったボランティアを案内（4～3月）

<令和2年度に変更した学校行事等>

運動会は例年6月に実施

企業学校見学会は例年7月に実施

文化祭は例年10月に実施

修学旅行は今年度中止



### ③ キャリア・パスポートの指導事例

ア 今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】(高2-1)

(ア) ねらい

年度初めに、なりたい自分・挑戦したいことなどについて、現在の自分を見つめて目標を立てる。その際、前年度の反省を踏まえ、資質・能力の向上や将来につながるものとなるよう考慮して進める。

(イ) 授業の展開 (50分授業)

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	生徒を4人程度のグループに分けておく。	5分
展開	キャリア・パスポートの1を記入する。 クラス内で数名が発表する。	自分のプラス面を見つけられない人には、( )内を参考に欠点をリフレーミングさせる。	10分
	キャリア・パスポートの2～4を記入する。グループ内で記入した内容を発表させ、発表内容について感想を述べる。	必ずそれぞれの発表に感想を述べさせる。 2に関しては、必ずしも進路に関する内容でなくてもよいことを伝える。	25分
	「発見♡ふるさと」を記入する。	内容をグループで共有する。	5分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 今の自分を見つめて書こう。」

今夢中になっていること・もの：

- ・検定の勉強
- ・ゲーム
- ・ねふた
- ・部活動
- ・DIY
- ・肉体改造

自分のプラス面：

- ・自分の意見を言わない → 我慢強い
- ・行動するまでの時間が長い → よく考えてから行動する
- ・すぐ気持ちが顔に出る → 正直、素直

「2 将来の夢や目標を書こう。」→「3 その夢や目標をもった理由を書こう。」

- ・まだ決まってはいませんが、保育士や介護福祉士の仕事を考えています。  
→ インターンシップでこれらの仕事を体験し、みんなの役に立ちたいと思ったからです。
- ・自衛隊に入隊して、国や人のために働きたい。  
→ 父も自衛隊員で東日本大震災のときに救助に行っていて、自分も困っている人たちを命がけで助けたいと思ったから。

- ・前向きな生き方。失敗しても、自分が幸せと思うことをして落ち込まずにポジティブに生きたい。
- 人のために何かをして、喜ばれるのが好き。頼られている気がして、自分ができることならなんでもやろうと思えたから。

「4 夢や目標を実現するために、今からやれることを具体的に書こう。」

- ・社会のマナーを知る。自分より上の人への接し方を学ぶ。
- ・自分のいいところ・ダメなところをしっかりと把握して、自分磨きをする。
- ・家族や地域の人とのコミュニケーションを大切に、積極的にボランティア活動にも参加する。
- ・身近にいる人を笑顔にするために、家の手伝い、畑の手伝いを積極的に行う。

(エ) 工夫した点

- ・人それぞれ目標は異なるので、自分に合ったものを考えさせた。
- ・目標はやや高めに設定させた。
- ・グループ内の発表では、決して否定的な言葉を使わないようにさせた。
- ・「発見♡ふるさと」に関しては、有名な観光場所でなく、身近な場所でも構わないことを伝えて記入させた。
- ・担任からのコメントを必ず記入して生徒に返却した。

# □今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】

高2：令和2年4月29日（水）①

① 今の自分を見つめて書こう。

今、夢中になっていること・もの

東映のための勉強

自分のプラス面を見つけてみましょう。

(例：何にでも首を突っ込む(マイナス) → 何にでも積極的(プラス))

失敗が多い(マイナス) → 失敗をバネに頑張れる(プラス)

② 将来の夢や目標を書こう。(やってみたいこと、就きたい仕事、生き方など)

情報工学系の大学に入り、プログラマーとして働けるように専門的な勉強に力を入れたいと思う。

③ その夢や目標をもった理由を書こう。

普段、私たちが何気なく使っているスマートフォンのアプリなどがプログラミングによって動いているのを知って、自分も開発者側に回りたいと思ったから。

④ 夢や目標を実現するために、今からやれることを具体的に書こう。

資格取得のために毎日勉強時間を確保する、行きたい大学、興味のある学部・学科の情報をしっかり調べる、大学に必要な基礎学力を身につける。



## 発見のふるさと

青森県の中から、好きな場所・人・ものを書こう。

弘前公園

柴崎岳

りんご

日常生活の気付き - 高校の専門的 高2-1  
 日替びー進路選択という関係付けがとて良いと思える。大学を研究室による設備だけでなく、言語や操作も専門的に答える分野。得意分野は異なるが、これはアプリケーションの開発をしたいのかととて掘り下げて考えたい。資格+大学で学べる学力!

# □今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】

高2：令和 2年 5月 / 日（金）①

## ① 今の自分を見つめて書こう。

今、夢中になっていること・もの

重複(ちゆうぶく)や続柄(つづきがら)などの読み間違いがすい

漢字を調べること

自分のプラス面を見つけてみましょう。

(例：何にでも首を突っ込む(マイナス) → 何にでも積極的(プラス))

好奇心旺盛

## ② 将来の夢や目標を書こう。(やってみたいこと、就きたい仕事、生き方など)

スポーツバイクで日本を旅行してみたい。



## ③ その夢や目標をもった理由を書こう。

実際に旅行している人が活き活きしていて、旅行しているときの風が気持ちよさそうだったから。

## ④ 夢や目標を実現するために、今からやれることを具体的に書こう。

高校生のうちから色々調べておく

必要な資格などを取るべくしておく

夏休みや冬休みの長い休みのおきに

アルバイトなどをして、将来、社会に出たとき

自分に足りない点とと思う所を探してみる。



### 発見 するさど

青森県の中から、好きな場所・人・ものを書こう。

黒石から弘前へのバ

イラス

弘前鉄道の風の人のレ

ない時間の電車

高2-1

〇〇エんの感性の豊かさを嬉しく感じます。自分も書いてる通り好奇心旺盛なところを知っています。今現在も税金やな、良い時間を日々過ごしているけれど、将来は自分も楽しい周囲の人達も楽しめている予感があります。楽しさをあふらして読んでる方もお喜びの笑顔が内容。将来は向かいのキーボードは

イ 人とのつながりを考えよう！【つながる力】（高2－2）

(ア) ねらい

日常的に接する家族や友人はもとより、地域社会の人々との交流から改めて人との関わりについて考える。また、他者の言葉からその人の考えや心情・心理に触れ、客観的に自己を見つめる機会とする。

(イ) 授業の展開（50分授業）

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	生徒を4人程度のグループに分けておく。	5分
展開	キャリア・パスポートの1～3を記入する。 グループ内で記入した内容を発表し、発表内容について感想を述べる。	書くことに悩んでいる生徒に対して随時アドバイスをする。 グループ内で自由に話しながら記入させる。 感想は肯定的なものにする。	20分
	キャリア・パスポートの4とまとめを記入する。 グループ内で発表し、最も印象に残ったものを一つ選ぶ。	グループの中で発表者を決め、最も印象に残ったものを全体に発表させる。	20分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。」

- ・母のつくるご飯がとてもおいしくて、「おいしい、おいしい」と言って食べていたら、父に「おいしいご飯つくってくれるお母さんで良かったべ」と言われたこと。
- ・有名人が続けて亡くなったり、台風やコロナウイルスなどの災害が起きたりして、令和になってからいいことがないなと話したこと。
- ・家族と芸能人の自殺が多いという話をしました。つらいことがあって死にたいと思っても、一人で抱え込まず、信頼できる人や家族に話して、絶対に自殺はしないと約束しました。

「2 (学校の) 友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。」

- ・それぞれの将来の話が心に残りました。それぞれの夢に向けて何をしているのか、何をしなくてはならないのかということを考えさせられました。
- ・コロナの影響で様々な行動や行事が規制されていく中で、ルール内で自分たちが楽しめることがないか一緒に考えた。
- ・将来の職業と資格の勉強について、お互いの不安なことを話し合ったことで、悩みが軽減された。

「3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。」

- ・「未来塾」で、黒石で働いている大人の方と話し合いをした。黒石で働いて良いことと良くないことを教えてもらった。
- ・私は家でゴミ捨てる係なのですが、朝ゴミを捨てに行くとき必ず会う人がいて、いつもはあいさつだけだけど、ある日「えらいねえ～、感心だあ」と言われたこと。自分では当たり前だと思っけていても、その当たり前ができる人は周りから高い評価を得るんだなと学びました。
- ・道端で知らないおばあちゃんに話しかけられました。制服で黒商生と分かったみたいで、「あと少しで閉校なんだなあ」としみじみしていました。

「4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。」

- ・出来事：小学校でプログラミングの授業が追加されること  
思ったこと：私より若い人たちは、私が勉強してきたことよりも新しいことを学んでいくので、卒業してからも自主的に勉強をしなければならぬと思った。
- ・出来事：コロナウイルスの影響によるステイホーム期間  
思ったこと：友達に会えなくなって、電話で声が聞けたとき、なんか安心できて、友達と会うことや話すことは大事だと思った。
- ・出来事：新型コロナウイルスの影響で、オープンキャンパスに行けないこと  
思ったこと：実際に行ってみないと分からないこともあるし、学校の雰囲気などを感じられず、学校選を失敗してしまうかもしれない。

「1～4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。」

- ・自分の感情や思っていることを相手に伝えたり、自分に足りないものや自分がもっているものなどを周りから情報収集したり、当たりのことだからこそ当たり前にやることなどが将来の自分に役立つと思った。
- ・困ったとき、精神的にきつくなるとき、相談に乗ってくれる友達がいることによって、さまざまなきに助けられると思った。会社に行って働き始めたとき、役に立つと思った。
- ・色々な人とコミュニケーションを取ることで、自分が成長できると思うし、社会に出たとしてもコミュニケーションは必要になるので、これからは人と関わることは大事だと思った。

(エ) 工夫した点

- ・「3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。」について書くことに悩んでいる生徒が多かったため、夏休み中のアルバイトや文化祭での接客など、具体的な例を挙げて記入させた。
- ・グループ内での発表に対する感想は、「いいと思う」など安易なものに終始するグループもあるので、「Aの発表にはBが感想を述べる」などを決めたことで、必ず全員が感想を述べることができた。
- ・他者に見られることが嫌なのか、書くことが苦手なのか、すべての項目について記入することができない生徒もいたので、課題として家庭で記入させ、後日担任へ提出させた。

# 〇人とのつながりを考えよう！【つながる力】



高2：令和2年9月30日（水）②

- ① 1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

今、祖母の介護をこれからどうするかという事を話しているのですが、老人ホームか、家で介護するのかずっと話しています。これから、自分が大入になるにつれて、またこういう話が出ると思うので、その時のために、今から考えなければと思います。

- ② 2 (学校の)友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

誰と 友達

話題になった出来事

修学旅行について、本当は行きたいのですが、コロナの関係で行けなりのではなにかと話していました。今回はあきらめて自分達の命を守った方がいいという言葉が、心に残りました。

- ③ 3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。

地域の人と関わった具体的内容



この時期、梨が多くとれるので、たくさんをもらいました。家だけでは食べられる量ではなかったので、近所の人にもあげて、やっと食べられる量になりました。お返しにりんごをもらいました。

- ④ 4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。

出来事

コロナウイルスの予防対策

思ったこと

保育園や、幼稚園で、コロナウイルス対策として、入との距離をとり、子供達があまり友達と遊んでいないので、少しがっかりしています。

- 1~4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。

コロナウイルスのような新型コロナウイルスの対策をつねに考えていかなければならないと思います。あまり免疫をもたない老人や子供達をどのように生活させていくか、経済はどうするのか、時間をかけて考えなければならないと思います。

さらに高齢社会をどのように<sup>高2</sup>生きていくべきかを考えていることに感じています。早目の準備取り組みでいかりした人々と築けると思います。

# 口人とのつながりを考えよう！【つながる力】



高2：令和2年9月30日(水)②

1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

2020年に入ってから俳優や女優の有名人たちが「どんどん世になっていくよ。自分の家族は、コロナのせいで家で1人である時間が長くなり、悩んだら死んでしまうのではないかと感じるようになった。

命は通して人とのつながりがある。命は決まらずに自分自身の行動で切り替えることができる。この世で暮らすには命を大切にしたい。

2 (学校の)友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

誰と 友人  
話題になった出来事 K-1選手の、木村アキラと、ホクモゴ。自分のK-1選手の話をして、K-1選手は自分の命をかけて戦っていることを知ってから、K-1選手がとてつもなくカッコいい男だと感じるようになった。

多くの人は職業人か。自分のために家族のために社会の中で日々戦っています。

3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。

地域の人と関わった具体的な内容  
隣人とすれ違うときに、「おはようございませう」と言ったこと。隣人と挨拶を交わすことで、隣人との関係が良くなると思う。挨拶を日常的に隣人と交わすことで自然と仲が良くなると思う。



挨拶が飛ぶ。その地域は明るい気分で、地域の人と挨拶を交わすことで、仲が良くなる。

4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。

出来事 リモートで結婚式を挙げていること。  
思ったこと このコロナ禍で1つの場所の人が集まることができない状況で、リモートで結婚式を挙げるのは、さまざまなデメリットとデメリットがあることを伝えている。

リモートで結婚式を挙げると、結婚式が楽しくなくなる。企業が多い中、リモートで結婚式を挙げると、結婚式の価値が下がってしまう。

1~4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。

その時、世間で話題になっていることに敏感になると、話がはずんで会話が楽しくなる。この時代だからこそ人と人との話をし、コミュニケーションを高めていこうと思った。

AI(人工知能)が進んでいる世の中だから、課題を解決するために人間は人間として生きていく必要がある。



## (2) 普通科

### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

#### ア 現状

一つ一つの行事や取組には目的があり、それに向かって生徒も全力で取り組んでいるため、人間的成長の一助となっている。しかし、課題研究、職業人講話、出前講義、進路講話などを実施したときに、事前に自分の考えを整理したり、事後に学んだことをまとめたり、振り返ることにより自分の変化(成長)を確認したりすることが少なくなっている。

#### イ 課題

全教員がキャリア・パスポート等を使いながら、生徒に今の自分に不足していることに気付かせ、具体的にどのように行動すればよいか考えて議論・行動させて自分の変化や成長につなげさせるためには、学校全体で本気で実施できるかが課題である。

### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
5月	<b>キャリア・パスポート（自己を見つめる力）</b>
6月	進路講演会の開催・・・1年生のみの実施（三密回避により2年生不参加） 思春期講座の開催・・・2年生対象で実施 <b>&lt;事前アンケート実施&gt;</b> <b>キャリア・パスポート（動く／生かす力）</b>
7月	弘高祭(ねふた制作)の実施・・・中止 <b>キャリア・パスポート（つながる力）</b>
10月	修学旅行の実施・・・中止 出前講義の実施
2月	2学年課題研究の振り返り <b>キャリア・パスポート（創り出す力）</b>
3月	<b>キャリア・パスポート（1年間の振り返り）</b> <b>&lt;事後アンケート実施&gt;</b>

### ③ キャリア・パスポートの指導事例

#### ア 自分の行動を、将来に生かしていこう！【動く／生かす力】（高2－3）

##### (ア) ねらい

思春期講座で健生病院の医師の講演を聞き、生活の中でどのような考えや行動が大切であるか、具体的にどのように生活していけばよいか深く考える。グループで議論する中で気付いたことを生かして行動を変えていく。

(イ) 授業の展開 (50分授業)

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	生徒を4人程度のグループに分けておく。	5分
展開	キャリア・パスポート(前半部分1&2)を記入する。	些細なことでも肯定的に捉えて記入できるように声をかける。	10分
	グループ内で記入した内容を発表させ、自分で決めて取り組んでいることの気づきにつなげる。	発言が少ないグループには、例を挙げて、話し合うきっかけとする。 否定や批判をせずに、良い点を伝えたり、どのように改善すればよりよくなるか話し合う。	20分
	キャリア・パスポート(後半部分3&4)を記入する。	些細なことでも続けていることを書くようにアドバイスする。 ない場合は、続けていく決意を書くように声をかける。	10分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 学習や生活の中で、『こうすればもっとよくなる』と考えていることを書こう。」

- ・自分の考えに固執することなく、他人の意見を聞きながら、刺激を受けて自らの原動力に生かす。
- ・「やるべきこと全ての質の向上」例えば勉強であれば、今日は何時間勉強したなどと時間にとらわれて振り返ることがあるが、大事なものは時間ではなく質である。どれくらい集中していたかなどに重きを置いて行動してみたい。また、長時間集中できるようになりたい。
- ・自分に他人の気持ちや状況、心情を推し測る力がもう少しあれば、それが学校生活や国語や英語の問題を解くのに良い影響を与えると考えた。

「2 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。」

- ・もっと積極的に自分の意見を話したり、勇気をもって質問したりする。また、挨拶やお礼など相手を敬う気持ちを大切にする。
- ・1度に2時間も3時間も集中し続けるのは自分には無理なことだと思っている。そのため、1時間おきに5分ずつ小休憩をとったり、勉強する時とそれ以外のことをしている時のメリハリをつけたい。

- ・人に積極的に話しかけたり、本など文章を読むことで自らのコミュニケーション能力は上がると考えた。

「3 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、『自分で決めて、続けて取り組んでいること』を書こう。」

- ・睡眠の重要性に最近気付いてから、睡眠時間をしっかりとることを心がけている。睡眠時間に関する様々な研究結果もたくさん発表されているので、それらを参考にしながら質の高い睡眠をとりたい。
- ・図書館から文章量の多い本を借りて読むようにしている。少しずつ周りの人と上手く会話できるように日々気を付ける。
- ・毎日新聞を読む。

「4 『続けて取り組んでいること』が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、『新たに身に付けていきたいこと』を書こう。」

- ・睡眠をしっかりとることで、日中の様々な活動の効率が上がると思う。将来のことであれば仕事の効率が上がると思う。また、新たに身に付けたいことは、やることを計画してそれを実行する力。
- ・将来必要になるであろうコミュニケーション能力を養い、また情報整理の能力も身に付けることができるかもしれない。今後はより円滑に状況を整理できる力を身に付けていきたい。
- ・受験や一般知識問題で役に立つと思う。

(エ) 工夫した点

- ・思春期講座の内容も含めて、生活の中で「こうすればもっとよくなる」「どのように行動すればよいか」を考えさせ、男女間はもちろんLGBTの生徒がいる可能性を踏まえて、多様性はあってよいのだということを最初に教員が語ることにした。
- ・「自分で決めて、続けて取り組んでいること」をグループで話し合い考えるときに、「続けて取り組んでいきたいこと」も考えるように伝えた。

# 自分の行動を、将来に生かしていこう！【書く/生かす力】

高2：令和2年7月3日（金）③

- ① 1 学習や生活の中で、「こうすればもっとよくなる」と考えていることを書こう。

何事も計画をあらかじめ立て、それに沿って行動または  
計画の修正を行い自分の力量を適切に判断すること。



また自分の限界を知り、次の計画への参考として  
いくこと。

- ② 2 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。

まずは一番身近な勉強、つまりテストや長期休暇などの  
勉強の取り組みについてなるべく細かく計画を  
立てる。メモ帳やカレンダー等に直接書き込むこと  
によって視覚的に理解できるようにする。



- ③ 3 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、「自分で決めて、続けて取り組んでいること」  
を書こう。

短期的にはどうしてもならぬ英単語や古典を毎日の中  
の時間を配分し、勉強することが出来る。

- ④ 4 「続けて取り組んでいること」が将来どんな役に  
立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のため  
に、「新たに身に付けていきたいこと」を書こう。

毎日の小さなコツコツとした積み重ねを繰り返すこと  
将来どんなものでも必ず役に立ち、いつか  
大きなことを成し遂げられると思う。



1日に1つのことだけできなく

いつかのことを行えるようになること

## 発見♡ふるさと

青森県の目覚めできるものを書こう。

う  
太宰治

寺山修治

リンゴ

# □自分の行動を、将来に生かしていこう！【動く/生かす力】

高2：令和2年7月3日(木)③

- ① 学習や生活の中で、「こうすればもっとよくなる」と考えていることを書こう。

夜中まで起きてしまう。朝グラグラ過ぎしてしまう。  
 すき時間をも有効活用できない。



- ② 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。

早寝・早起きを心がける。  
 すき時間を利用して単語帳などを覚えたり  
 する。



- ③ 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、「自分で決めて、続けて取り組んでいること」を書こう。

朝のバスの中ではスマホを見たりして時間を有効活用  
 している。

- ④ 「続けて取り組んでいること」が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、「新たに身に付けていきたいこと」を書こう。

生活のメリハリをつける。あれこれ  
 同時にするのはよく、1つずつ  
 丁寧にこなしていきたい。



## 発見♡ふるさと

青森県の自慢できるものを書こう。

自然

イ 自分の未来を創り出そう！【創り出す力】（高2－4）

(ア) ねらい

2年生としての1年間を振り返り、自分自身の成長を考える。小グループで発表や意見交換をすることにより、友人やクラスメイトからの視点を知り、認め合っていることを実感する。グループで議論する中で気付いたことを、最終学年の3年次に生かしていけるように行動を考えていく。

(イ) 授業の展開（50分授業）

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	生徒を4人程度のグループに分けておく。	5分
展開	キャリア・パスポート(前半部分1～3)を記入する。	些細なことでも肯定的に捉えて記入できるように声をかける。	10分
	グループ内で記入した内容を発表し、自分で決めて取り組んでいることの気付きにつなげる。	発言が少ないグループには、例を挙げて、話し合うきっかけとする。 否定や批判をせずに、良い点を伝える。クラスメイトの視点で成長していると感じることを、素直に伝えさせる。	10分
	キャリア・パスポート(後半部分4)を記入する。	些細なことでも3年生でどんな目標があるか、それを達成するために挑戦したいことは何かを書くようにアドバイスする。	10分
	グループ内で記入した内容を発表し、自分で決めて取り組んでいることの気付きにつなげる。	高校生活最後の1年間で挑戦したいことであるため、まずは応援する発言をするように声をかける。	10分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 高校1年生の頃と比べて、2年生になってから変化したことを書こう。」

- ・勉強を習慣的にするようになり、楽しさを感じるようになってきた。
- ・自分の目標がはっきりとイメージできるようになった。

- ・部活動で指示を出す立場(パートリーダー)になり、周りを考えて発言するようになった。

「2 高校2年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。」

- ・新型コロナウイルスの影響でいろんな行事が中止になった。修学旅行代替行事のスポーツ大会において、クラス全体で楽しめたことが一番心に残った。
- ・将棋AIを通して、AIの大まかな仕組み(評価関数)が分かって面白かった。いずれ自分で作ってみたいと思った。
- ・全教科というわけではないが、勉強量に見合った点数の増加を実感できた教科もあり、伸びを実感できたことが心に残った。

「3 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。」

- ・互いに適切な距離感を把握し、それを意識して維持してくれるところ。
- ・クラスの休み時間の雰囲気は非常に静かであるが、みんな勉強を頑張っているのが刺激になる。
- ・心から信頼していて、互いに困ったことを相談し合えるところ。自分を思っ  
て、はっきりアドバイスしてくれるところ。

「4 高校3年生で、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。」

- ・(挑戦したいこと)・・・志望大学進学のため、また、その前の将来を描くために、もっと積極的に行動したい。  
(どのように)・・・まだ分からないことや、知らないことがたくさんあると思う。高校3年生のうちに、できるだけたくさんのことを経験したい。
- ・(挑戦したいこと)・・・選挙に行きたい。やりたいことを知りたい。  
(どのように)・・・立候補者の経歴とか調べてみたり、若者に対する政策をとってくれる人を探したりしたい。
- ・(挑戦したいこと)・・・真剣に本気で勉強を努力したい。  
(どのように)・・・流されて生きるのはやめて、熱意のままに生きたい。

(エ) 工夫した点

- ・「3 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。」について、グループで意見交換するときに、「どんな小さなことでも良いことを挙げてみよう。」と声を掛けて、仲間を認めるよい言葉を考えるきっかけとした。
- ・「高校3年生で挑戦したいこと」について、グループで意見交換するときに、「具体的に表現できることを大事にしよう。」と声を掛け、挑戦したいことに対し具体的な動きにつなげられるようにした。

# □自分の未来を創り出そう！【創り出す力】

高2：令和2年12月9日(水)④

- ① 高校1年生の頃と比べて、2年生になってから変化したことを書こう。



メリハリがつくようになった。勉強にせよ部活にせよ  
だらだらすることなく行動できるようになった。またそれに  
伴い集中力や忍耐力が上がったと思う。

- ② 高校2年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。

・ HRで行ったおいらせのけい流や十和田湖の思い出  
・ 初の大会にエセッターをつとめ、緊張に打ち勝ち  
ながらもプレーできたこと。

- ③ 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。

・ 分からない問題について休み時間などほんの少し  
の時間を有効活用して勉強を続けようとする。  
・ 自分を律して行動できていること。



- ④ 高校3年生で、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。

挑戦したいこと 計画を立てそれを実行することを繰り返して  
自分の力量を理解し、またそれを勉強、部活動に活かす。  
どのように リストアップの期間や大会、試合までの期間から逆算して  
プランニングし、またその精度や期間を延ばしてい  
たいと思う。

## 大人から励ましのメッセージ

保護者から

行事が中止や変更になりましたが代替行事  
を楽しめたと教えてくれた。良い人  
にも恵まれているのでホッとしたい。  
3年生も勉強。28

先生から

成功も、失敗も、すべて経  
験です。失敗も含めて、様々  
なことはこれからチャレンジ  
してほしい。

高2-4



# □自分の未来を創り出そう！【創り出す力】

高2：令和2年(2月9日(水))④

- ① 高校1年生の頃と比べて、2年生になってから変化したことを書こう。



勉強や部活やそれ以外のことに責任や義務感が増  
し、挑戦してはからて、まろり行動の必要性を感じる事が多  
くなった。

- ② 高校2年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。

一年生のときに行きつづき、科学の甲子園(青森大会)で優勝し  
今のメンバーで全国大会に出場できたこと。

- ③ 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。

行動と言葉が一致している人が多い。  
尊敬できる人が多い。



- ④ 高校3年生で、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。

挑戦したいこと 科学系総合の分野について深く知ること。

どのように 土台をうくりながら、機会を見つけて様々な  
イベントや講演に参加する。

## 大人から励ましのメッセージ

保護者から

友人を大切に。責任ある行  
動が期待。頑張ってください。

先生から

皆と協力して、物事に向かって  
行く。そのことで(失敗も含めて)双  
くの経験をする事ができてまし  
た。3年生では今以上に4年生

高2-4 インジレていませしゆ。

### 3 3学年におけるキャリア・パスポートを活用した指導事例

#### (1) 工業科

##### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

###### ア 現状

工業専門科目の座学・実習を中心に職業観を育んでいる。近隣小学校へのものづくり教室のアシスタントを務め、職業教育の担い手として地域連携に携わっている。また、地域に関心を持たせ貢献する姿勢を育てるため、県内企業PR説明会等を実施している。卒業の直前には、県商工労働部と工業会の支援による新人研修行事をキャリア教育と関連付けて実施している。数年前から、あおもりっ子キャリアノートを学校独自の進路ノート「みちしるべ」に活用方法とともに掲載し、進路指導の重点項目として位置付けてきた。今年度からはキャリア・パスポートを掲載し、キャリア形成や、進路選択につながるようHR活動等での活用を促している。

###### イ 課題

各種行事は充実しているが、振り返りにおいてキャリア・パスポートへの記入や活用が具体的な取組に至っていない。キャリア教育を効果的なものにするため、振り返りの時間を確保するとともに、記録を面談等に生かせるよう、取組方法を学校全体で共有して実践を重ねていくことが課題である。

##### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
5月	<b>キャリア・パスポート（自己を見つめる力）</b> 小学校出前授業（アシスタント）
6月	進路ガイダンス受講
7月	体育祭・中学生体験入学（アシスタント） <b>キャリア・パスポート（つながる力）</b>
9月	面接セミナー受講 <b>キャリア・パスポート（動く／生かす力）</b>
10月	文化祭
11月	地域ボランティア（小学生ものづくり体験教室アシスタント）
12月	<b>キャリア・パスポート（創り出す力）</b>
1月	<b>キャリア・パスポート（1年間の振り返り）</b>
2月	学習成果発表会・社会人としての基礎講座受講

##### ③ キャリア・パスポートの指導事例

###### ア 今と将来の自分を見つめよう！【自己を見つめる力】（高3-1）

###### (ア) ねらい

自己の興味・関心や適性の把握によって進路目標を設定し、社会貢献の仕方や将来の生き方について深く考えるきっかけとする。また、周囲との対話によって、新たな考えに気付いたり、整理したりする経験を通じて、多様な意見を尊重する態度を養う。

(イ) 授業の展開 (50分授業)

過程	内 容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	生徒をグループに分けておく。 ・4人1組で向かい合う。 ・付箋と生徒分の用紙を準備する。	5分
展開	<p>キャリア・パスポートの各欄に記入する。(1～3・ふるさと欄)</p> <p>メンバーの長所を付箋に書く。</p> <p>各々の用紙に付箋を貼り出す。</p>	<p>自分のことを肯定的に捉える。 良い面だけにフォーカスさせ、書きたくないことは無理に記入させない。</p> <p>些細なことでも良いので、できるだけたくさん書かせる。</p> <p>各人のコメント用紙に付箋を貼るよう指示する。</p>	10分
	<p>[グループワーク]</p> <p>①キャリア・パスポート(1～3)に記入した内容とメンバーからもらった付箋を紹介する。</p> <p>②他者への提案 グループワーク①の内容やメンバーから挙げられた長所から、向いていると考えられる職業を述べる。</p> <p>③提案について意見交換する。</p> <p>[全体発表会]</p>	<p>アウトプットにより自分の長所に気付かせ、自分を肯定的に捉えさせる。</p> <p>・会話が進んでいないグループに対しては会話の促進を図る。 ・長所や適性の深掘りによって、視野を広げさせる。</p> <p>・否定や批判は厳禁であることを伝える。</p> <p>発表に対する謝辞を忘れない。 共有すべき点を指摘する。</p>	20分
	キャリア・パスポート(4)を記入する。	やれることを一つ一つ具体的に書かせる。	10分
まとめ	本時の振り返りと次回の予告をする。	本時の取組を自己評価させる。 キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 今の自分を見つめて書こう。」

- ・一つの事に集中できる。
- ・恥ずかしがらずに物事ができる。
- ・好き嫌いが無い。
- ・責任感がある。一生懸命取り組める。
- ・誰に対しても優しくできる。

「2 卒業後の進路希望や夢、目標を書こう。」

- ・溶接の仕事に就くこと。
- ・八戸工科学院に進学し、車のディーラーに勤める。
- ・就職先で真面目に働いて5年後には家を建てる。
- ・医療に携わる仕事がしたい。
- ・東日本航空専門学校へ進学し、航空機の整備を勉強する。

「3 その進路や夢、目標をもった理由を書こう。」

- ・小さい頃からものを作ることが好きだった。
- ・病院で働く医療関係者を見てかっこいいと思った。
- ・行きたい会社がどんな会社かを調べる。言葉遣いに気をつける。
- ・良い給料をもらって恩返ししたい。
- ・震災の時に親が自衛官として救援活動をしたことを知り、憧れた。

「4 進路や夢、目標を実現するために、今からやらなければならないことを具体的に書こう。」

- ・製図検定の2次に受かるように頑張る。
- ・人前で堂々と話せるようになるため、実習前のスピーチや発表を頑張る。
- ・元気を与えるために、自分が元気になり、高齢者と積極的に交流する。
- ・アイデアをもらえるかもしれないので人との関わりを持つこと。
- ・来年から一人暮らしなので、今から食事や洗濯などをできるようにする。
- ・自分が気付いていないことを言われて可能性がとても広がりました。

(エ) 工夫した点

- ・1週間前に、「働き方の未来2035」(厚生労働省)を教材にプレ授業を行い、キャリアプランニングの重要性を訴え、今後の社会の変化に興味を持たせた。
- ・映像教材(動画:Society 5.0、政府広報)により、自分の将来を具体的にイメージさせることを試みた。
- ・グループワークの仕方やポイントを丁寧に説明した。将来に希望を持ち、進路選択の可能性を拡げるため、相手の良さを探すことを大事にするよう促した。

# 今と将来の自分を見つめよう！

高3： 2年6月24日(水) ①

1 今の自分を見つめて書こう。

今、夢中なこと・もの

部活

自分のプラス面を見つけてみましょう。

(例：何にでも首を突っ込む(マイナス) → 何にでも積極的(プラス))

最後までやりとげる。

2 卒業後の進路希望や夢、目標を書こう。(やってみたいこと、就きたい仕事、生き方など)

東北電力に就職し、人の役に立てる事をしたい。



3 その進路や夢、目標をもった理由を書こう。

家族を安定して支えていきたいから。

4 進路や夢、目標を実現するために、今からやらなければならないことを具体的に書こう。

自分がもっている能力を最大にいかし、  
これからの生活や面接で自信をもって  
答えられるようにしていきたい。

発見♡ふるさと

青森県の中から、好きな場所・  
人・ものを書こう。

海、山、自然が沢山

# 今と将来の自分を見つめよう!

高3: 2020年6月24日( )①

## 1 今の自分を見つめて書こう。

今、夢中なこと・もの

映画を見ること

自分のプラス面を見つけてみましょう。

(例: 何にでも首を突っ込む(マイナス) → 何にでも積極的(プラス))

- ・明るく元気がいい
- ・誰にでも優しい
- ・意外と真面目

## 2 卒業後の進路希望や夢、目標を書こう。(やってみたいこと、就きたい仕事、生き方など)

- ・宮城県にある東日本航空専門学校へ進学する
- ・グラウンドハンドリング



## 3 その進路や夢、目標をもった理由を書こう。

- ・小さい頃から飛行機が好きで、将来飛行機の操縦士になりたいと思ったから

## 4 進路や夢、目標を実現するために、今からやらなければならないことを具体的に書こう。

来年から一人暮らしが始まる  
かもしれないから、食事や洗濯が  
一人でできるようにする。また、面接が  
8月にあるのでそれに向けてしっかり  
練習する

## 発見♡ふるさと

青森県の中から、好きな場所・  
人・ものを書こう。

十和田湖

イ 人とのつながりを考えよう！【つながる力】（高3－2）

（ア）ねらい

様々な活動を通してたくさんの人たちとつながることによって、学びが深まっていくことを認識する。地域の人たちと関わる行事の振り返りによって、社会参加への自信を深め、将来を設計する態度を育成する。

（イ）授業の展開（50分授業）

過程	内 容	留意点等	時間
導 入	本時のねらいや流れを説明する。	生徒を4人程度のグループに分けておく。 ・「自己を見つめる力」との関連の整理・目標を共有する。 ・「つながり」という言葉のイメージを確認する。	5分
展 開	キャリア・パスポートの各欄に記入する。（1～4）	地域の人たちと関わった出来事については、小学生ものづくり教室や中学生体験入学などを振り返り、記入させる。	15分
	〔グループワーク〕 記入した内容をグループ内で発表する	対話によるつながり方の深掘りによって、つながる力を育成する。  将来のつながり方を想像させる。	20分
	〔全体発表会〕	発表に対する謝辞を忘れない。 共有すべき点を指摘する。	
	キャリア・パスポートを記入する。  「1～4の出来事が、将来どのように役に立つか考えて書いてみよう。」に記入する。	将来の自分の姿を具体的にイメージさせる。	7分
ま と め	本時の振り返りと次回予告をする。	キャリア・パスポートを回収する。	3分

(ウ) 生徒の記入例

「1 家族と、最近話題にしたことで心に残っていることを書こう。」

- ・三沢のパティシエがパリで1位になってすごいなと思ったこと。
- ・就職試験での出来事を話題にした。面接をすることはとても大切だと分かった。
- ・給付金が当選し、新しい田植え機を購入すること。
- ・就職をしたら一人暮らしなので、生活内容について話し合った。

「2 (学校の) 友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。」

- ・来週の期末テストについて、どのように苦手な教科を対策しているか。
- ・いろんな車の良いところと悪いところ。
- ・将来、自分が乗る自動車について必要になる条件を話した。
- ・ものづくりコンテストに出る2年生について。
- ・火事について語った。いつ起こるか分からないから心構えをしっかりとる。

「3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。」

- ・小学生とのものづくり体験のこと。
- ・小学生のものづくりに関わった。スピーカー作りのときに、はんだ付けを教えた。
- ・親せきの人と進学先や就職のことについて話した。
- ・見たことのない犬を連れている夫婦がいて、触りにいったら青森県に3匹しかいない犬だった。
- ・ものづくりコンテストの東北大会に参加し、様々な人の技術を見ることができた。

「4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。」

- ・来春からマスク製造工場に就職するので、ますます需要が上がると思った。
- ・地域や校外の人々とつながっていて、たくさんの人に支えられているということに改めて感じた。
- ・運転の自動化について、コンピューターなどの科学的分野の知識が必要になる。
- ・コロナの影響で航空会社が安定しない。航空関係の仕事に就くことを考え直す。

「1～4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。」

- ・これから先、いきなり大変なことが起こっても対応することができるようになる。自分のことは自分で守る意識が付いてくると思う。
- ・職場でのコミュニケーションに役立てていき、職場を明るくしていきたい。
- ・様々な人と話したり、関わったりすることでパイプができ、いつかどこかで助け合える可能性がある。
- ・将来はトラックの整備士を目指しているので、自動化の知識も身に付けたい。
- ・何気ないことが一つの幸せだになって、この授業を通して思いました。小さな幸せを大事にして、周りに幸せを届けられる人になりたい。



(エ) 工夫した点

- 技術革新の最前線を映像で示し(inaho 株式会社；自動野菜収穫ロボット)、農業と工業の融合など、将来に対する固定観念からの脱却を促した。
- 自分の良さに気付くには何が必要か、面接練習で自分に向き合った経験を振り返らせた。
- 「つながること」は「人との関わり」に通じ、気づきや学びの源となることを説明した。関わりが新たな出会いに発展し、新たな仕事など、活動の場が広がっていくことをイメージさせた。
- グループワークにより、他人のつながり方を参考にすることを設定した。

## 人とのつながりを考えよう

高3: 令和2年11月18日(木)②

- 1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

コロナウイルスについて

車のことについて

- 2 (学校の)友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

誰と ○○さん

話題になった出来事 今ほパトカーにクラウンが使用されているが、

クラウンが現行型で終わってしまうかもというニュースを受け  
パトカーに使用される次の車を予想し合っていた。

- 3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。

地域の人と関わった具体的内容



駅であいさつ運動をしている人にあいさつを返した。

- 4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。

出来事 コロナウイルスの影響でボーナスや給料が減ったり、

仕事を手放す人が出てきていること。

思ったこと 自分が将来就職する時、コロナウイルスの影響で安定した給料をもらえないかもしれない。安定した生活をおくることでないかと

1~4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。

家族や友達、社会と様々なつながりがあることに気付  
き、様々な影響を受けていると感じました。身近な方のつな  
がりや自分の支えとなつて役に立っているので大切にしていきたい。

## 人とのつながりを考えよう

高3：2020年11月18日(水)②

1 家族と、最近話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

- ・車の保険について
- ・アルバイトについて

2 (学校の)友人と話題にしたことで、心に残っていることを書こう。

誰と ○○さん

話題になった出来事 ものづくりコンテストに出る2年生についての  
お話し。

3 最近、地域の人たちと関わった出来事を書こう。

地域の人と関わった具体的内容



東北大会に行き、様々な工業高校の人の技術力を見る  
ことができた。

4 自分の将来に結びつきそうな世の中の出来事と、そのことをとおして思ったことを書こう。

出来事 ソニーが車を作ったこと。

ホンダがレベル3の自動運転の車を出したこと。

思ったこと 自動車整備も様々な部分がコンピューターになりそれを対応  
できるようにしていかなければならないと思った。

1~4の出来事が、将来、どのように役に立つか考えて書いてみよう。

将来は今以上に向上心をもち、様々な人とのかかわり、  
色々な知識を付けていけるようにしていきたいと  
思いました。

## (2) 普通科

### ① 本校におけるキャリア教育の現状及び課題

#### ア 現状

素直で、協調性がある生徒が多く、学校行事に全力で取り組む姿勢が見られる。その一方、主体性や課題解決力等の能力の育成にはまだ課題が残る。このような状況を踏まえ、教科・科目等のほか、部活動やボランティア活動等も含めた全ての教育活動を通して、生徒が自らの力で一步前に踏み出すことができる力を身に付けられるようにキャリア教育を推進している。

#### イ 課題

生徒に目先の進路のみではなく、自己の生き方在り方について考えさせ、主体的に行動する力を身に付けさせることが課題である。そのため、進路講演会等の行事が1回限りのものとならないよう、全教職員がキャリア教育の視点を持って、生徒と関わり、生徒を認め、励ましていくことが必要である。

### ② キャリア教育の実施経過 ※太字はキャリア・パスポートを活用

実施時期	実施内容
4月	合格体験記を読む
4月～ (通年)	ボランティア体験 各種講演会への参加
5月	志望理由書の作成 <b>キャリア・パスポート (自己を見つめる力)</b>
6月	進路講演会の開催
7月	課題研究発表会 文化祭の実施 <b>キャリア・パスポート (つながる力)</b>
8月	各大学オープンキャンパスへの参加
9月	体育祭の実施 <b>キャリア・パスポート (動く／生かす力)</b>
10～11月	小論文・面接練習
12月	合格体験発表会 <b>キャリア・パスポート (創り出す力)</b>
1月	<b>キャリア・パスポート (1年間の振り返り)</b>

### ③ キャリア・パスポートの指導事例

ア 自分の行動を、将来に生かしていこう！【動く／生かす力】(高3-3)

(ア) ねらい

身近な生活の中で自らの課題を発見し、その課題と解決策について仲間と共有するとともに、課題解決に向けて行動することができる力を身に付ける。

(イ) 授業の展開 (50分授業)

過程	内 容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	4人程度のグループ決めを行う。	5分
展開	キャリア・パスポート(前半部分1～2)を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の身近な生活の中での課題とその解決策について、素直に記入するように指示する。</li> <li>机間指導を行い、記入できていない生徒にはアドバイスをする。</li> </ul>	10分
	グループワークを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>前半部分1～2で記入した内容についてグループ内で意見交換を行い、仲間の考えを共有する。</li> <li>記録係はグループ内で出た意見を記録する。</li> <li>グループ内で出た意見について、共通点や共感できた点、他者の意見から気付いた点などをまとめ、発表係がホームルーム全体の前で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク開始前に記録係と発表係を決める。</li> <li>各グループに記録用紙を配付する。</li> <li>各グループの発表に向けてグループの発表内容を班員が協力してまとめるように指示する。</li> </ul>	15分
	キャリア・パスポート(後半部分3～4)を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半部分における課題解決に向けて、自らが意識的に取り組んでいることを記入するように指示する。</li> <li>将来の目標達成のために今後取り組んでいきたいことを具体的に記入するように指示する。</li> </ul>	10分
	ペアワークを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに記入内容(後半部分3～4)を発表する。</li> <li>発表内容について、ペアで意見交換をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2人1組のペアを作る。</li> <li>互いに2分程度で記入内容を発表させ、意見交換を行う。</li> <li>批判的な意見にならないように注意する。</li> </ul>	5分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	5分

(ウ) 生徒の記入例

「1 学習や生活の中で、『こうすればもっとよくなる』と考えていることを書こう。」

- ・時間にゆとりを持ち、計画性を持って行動する。
- ・それぞれの意見を共有しやすく、また発言しやすいクラス作りをする。
- ・周りをよく見て、自分が何をすべきか最善のことをする。

「2 1 であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。」

- ・目の前のことだけでなく、先のことを踏まえて計画、行動する。
- ・自分の発言が相手にどのように受け取られるか、常に受け手のことを考えて発言、行動する。
- ・自分の行動に責任を持ち、先を見通す力を身に付ける。

「3 1、2 を踏まえて毎日の生活の中で、『自分で決めて、続けて取り組んでいること』を書こう。」

- ・勉強や活動をする前にスケジュールや時間配分などを決める。
- ・人とのコミュニケーションを一つ一つ大切にしている。
- ・自分の意見は必ず言う。相手の意見に対しては否定的にならない。普段から周りを見て行動し、その行動に対して責任を持つ。

「4 『続けて取り組んでいること』が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、『新たに身に付けていきたいこと』を書こう。」

- ・仕事をするときに自分の事情でミスをしたり、相手に迷惑をかけないで済む。締め切りが近くなると行動に移せないのも余裕を持つ力を身に付けたい。
- ・将来、社会に出てから自分の意見を持ち、積極的に発言することで多くの人と良好な関係になる。
- ・将来、看護師になりたいので、あいさつや人とのコミュニケーションがしっかりできれば、患者さんや職場の人からの信頼に繋がると思う。また、人の心を感じ取れる力も身に付けていきたい。

(エ) 工夫した点

- ・キャリア・パスポートに記入した内容を、グループワークやペアワークを通して他者と共有し、意見交換することで、新たな気づきが得られるようにした。
- ・グループワークでは、記録係と発表係の役割を事前に指示し、グループ内の意見を記録用紙に記入させ、発表の際に役立てた。

# □自分の行動を、将来に生かしていこう！【動く/生かす力】

高3：令和2年6月17日（水）③

① 学習や生活の中で、「こうすればもっとよくなる」と考えていることを書こう。

・ 計画性をもつて行動する。

・ 主体性をもつ。



② 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。

・ 目の前のことだけでなく、先のこともふまえて計画、行動する。

・ 周りをよく見て自分にできることはないかよく考え、積極的に行動する。



③ 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、「自分で決めて、続けて取り組んでいること」を書こう。

・ 自分から進んで挨拶をする。

・ 勉強や活動をする前にスケジュールや時間配分などを決める。

④ 「続けて取り組んでいること」が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、「新たに身に付けていきたいこと」を書こう。

・ 進んで挨拶をすることでコミュニケーションがとりやすくなる。

・ 時間やしめきりに追われることなく、余裕を持って生活できる。



常に前向きに生活できるようになりたい。

## 発見♡ふるさと

青森県の自慢できるものを書こう。

・ 自然が豊か

・ おいしい食べ物がたくさんある

# □自分の行動を、将来に生かしていこう！【書く/生かす力】

高3：令和2年6月20日（水）③

- ① 1 学習や生活の中で、「こうすればもっとよくなる」と考えていることを書こう。

時間にゆとりをもって1日を過ごす。



- ② 2 1であげた内容を解決するために、どのように行動すればよいか書こう。

朝は早く起きて、落ちついて支度や準備をする。



- ③ 3 1、2を踏まえて毎日の生活の中で、「自分で決めて、続けて取り組んでいること」を書こう。

- ・毎朝 余裕のある、決まった時間に起床する。
- ・頭の中でタイムスケジュールを作る。

- ④ 4 「続けて取り組んでいること」が将来どんな役に立つのか、考えて書いてみよう。また、将来のために、「新たに身に付けていきたいこと」を書こう。

簡単なタイムスケジュールを作ることで無駄な時間を減らし、やるべきことが早く終わる。  
自分だけでなく、他人のことも考えられるように新たにコミュニケーション力を身に付けたい。



## 発見♡ふるさと

青森県の自慢できるものを書こう。

- ・食べ物がおいしい。
- ・自然が豊かで生活しやすい。



イ 自分の未来を創り出そう！【創り出す力】（高3－4）

(ア) ねらい

1年間を通しての自分の成長を他者との関係にも着目して振り返るとともに、高等学校卒業後、前向きに取り組んでいきたいことを具体的に挙げ、自らの意欲を高める。

(イ) 授業の展開（50分授業）

過程	内容	留意点等	時間
導入	本時のねらいや進め方について説明する。	4人程度のグループ決めを行う。	5分
展開	キャリア・パスポート（1部分）を記入する。	・高校2年生の頃の自分について思い出させたいうえで記入させる。また、些細なことでも自分の中で喜びとなったことを踏まえて書くように指示する。	4分
	5～6人の生徒が記入内容を発表する。	5～6人の生徒を指名する。	3分
	キャリア・パスポート（2部分）を記入する。	・仲間と協力したことや自分なりに工夫して頑張ったことを書くように指示する。 ・机間指導を行い、記入できていない生徒にはアドバイスをする。	5分
	5～6人の生徒が記入内容を発表する。	5～6人の生徒を指名する。	3分
	キャリア・パスポート（3部分）についてグループワークを行う。 ・グループ内の司会が進行役となる。 ・グループメンバーの良いところを発表し合い、共有する。メンバーから挙げた自分の良いところを記入する。 ・記入した内容を踏まえ、改めて自分がどうありたいと思うか、グループ内で一人ずつ発表する。	・グループで司会を決める。 ・司会の進行により、一人ずつメンバー全員の良いところを発表するように指示する。	12分
	キャリア・パスポート（4部分）を記入する。	・1～3の内容をもとに、高校卒業後、進学先や就職先での「なりたい自分」を想	5分

		像して具体的に書くように指示する。	
	一人一人がホームルーム全体の前で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の発表者を教員が指名し、その後は生徒間で次の発表者を指名していく。</li> <li>・未発表者については隣の生徒同士で発表し合うように指示する。</li> </ul>	10分
まとめ	まとめと振り返り	キャリア・パスポートを回収する。	3分

(ウ) 生徒の記入例

- 「1 高校2年生の頃と比べて、3年生になってから変化したことを書こう。」
- ・勉強への取り組み方が変わり、10分休憩でも勉強したり、家でも自学をしたりする時間が2年生の時に比べて増えた。
  - ・友達だけでなく、周囲の人のことも考えて行動できるようになった。
  - ・高校2年生の頃は失敗を引きずってしまっていたが、3年生になってからは失敗から学び、改善する努力ができるようになった。
- 「2 高校3年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。」
- ・受験や模擬試験などのハードスケジュールをクラス全員で励まし合いながら乗り越えられた。
  - ・コロナウイルスの影響で計画通りに行えなかった部活動を、仲間と意見を出し合いながら最後までやり遂げられた。
- 「3 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。」
- ・決断力がある。
  - ・何事にも熱心に取り組む。
  - ・誰にでも明るく平等に接している。
- 「4 卒業後、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。」
- ・多くの領域に関わる本を織り混ぜながら、知識を増やすために本をたくさん読むことに挑戦したい。
  - ・積極的に人と交流し、異文化に関する自分の理解を深めるために語学留学をしたい。
  - ・進学先で初めて出会う人達のよいところを見つけ、良い関係を築き、誰かの役に立てるようにしたい。

(エ) 工夫した点

- ・仲間に自分のよいところを教えてもらうことにより自己理解を深められるようにした。
- ・発表の仕方を工夫し、授業が単調に流れないようにした。
- ・グループワークでは司会役を決め、円滑に討論が進むようにした。

## □自分の未来を創り出そう！【創り出す力】

高3：令和2年11月18日（水）④

- ① 高校2年生の頃と比べて、3年生になってから変化したことを書こう。



受験のことや自分の将来についてじっくり真剣に考えるようになり  
ました。そのため、勉強への意欲が高まり、成績も伸びていたので嬉  
しかったです。

- ② 高校3年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。

学校行事でクラス全員が協力合って楽しむことができたことが心に残りました。  
また、受験や模擬試験などのハードスケジュールを全員で励まし合いながら乗りこ  
えられたことに誇りに思っています。

- ③ 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。

頭が良い、素直、優しい、何にでも真面目、個性がある  
人に教えるのが上手い、嫌は顔せず勉強とか教えてくれる  
話しやすい、字がきれい



- ④ 卒業後、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。

挑戦したいこと 特別支援教育について学び、特別支援学校の教員になりたい  
そして、障害をもつ生徒の学校生活を支援したい  
どのように 大学で授業を積極的に受けて知識を身につけたり、ボランティア活動  
などを通じてたくさんの人とふれ合うことで教員になるためのコミュニ  
ケーション能力などを身につけたい

### 大人から励ましのメッセージ

保護者から

大学での4年間、教員になることを  
目指して充実した生活を送って  
ほしいと思っています。

先生から

受験期の努力はクラスに良い  
影響を与え、私自身感じさせて  
くれました。これから自分の決めた目標  
に向けて頑張ってください。

高3-4

# □自分の未来を創り出そう！【創り出す力】

高3：令和2年11月18日（水）④

- 📎 1 高校2年生の頃と比べて、3年生になってから変化したことを書こう。



勉強への取り組み方が変わり、10分休憩でも  
勉強したり、家で自学をしたりする時間が2年生の時  
に比べて増えた。

- 📎 2 高校3年生で心に残ったこと、感動したこと、誇りに思うことを書こう。

体育祭や文化祭では、クラスメイト全員が自分の得意分野を  
活かして活動することができた。クラスのチームワークがとても  
深まり感動した。

- 📎 3 友だちやクラスメイトのよいところを見つけよう。

- ・ 話しやすい
- ・ 熱心に取り組む
- ・ 助けてくれる



- 📎 4 卒業後、どんなことに挑戦していきたいのか、その決意を具体的に書こう。

挑戦したいこと 大学での勉強や活動で、今まで取り組んだ  
ことのないことに熱中したい。

どのように やったことのないスポーツに取り組んだり、自分が極めたいと  
思える学問を見つけて勉強してみたりする。

## 大人から励ましのメッセージ

保護者から

大学でも、自分の可能性を広げ  
るために、頑張ってもらい  
と思います。

先生から

3年生になってから勉強や  
学校行事での頑張りは素晴ら  
しかったです。卒業後も決意を忘れ  
ずに挑戦し続けてください。

## キャリア・パスポートを活用した成果と検証

令和2年4月から各校で活用されているキャリア・パスポートの成果と検証を行うため、ワーキンググループメンバーが在籍する学校において、学年別にキャリア・パスポートを活用する事前・事後でアンケートを実施し、4つの観点（自己を見つめる力、つながる力、動く／生かす力、創り出す力）について生徒のキャリア形成等に関する意識の変容を調査することとした。以下に示す項目について事前・事後アンケートを実施し、共通の項目で4段階評価を行った。

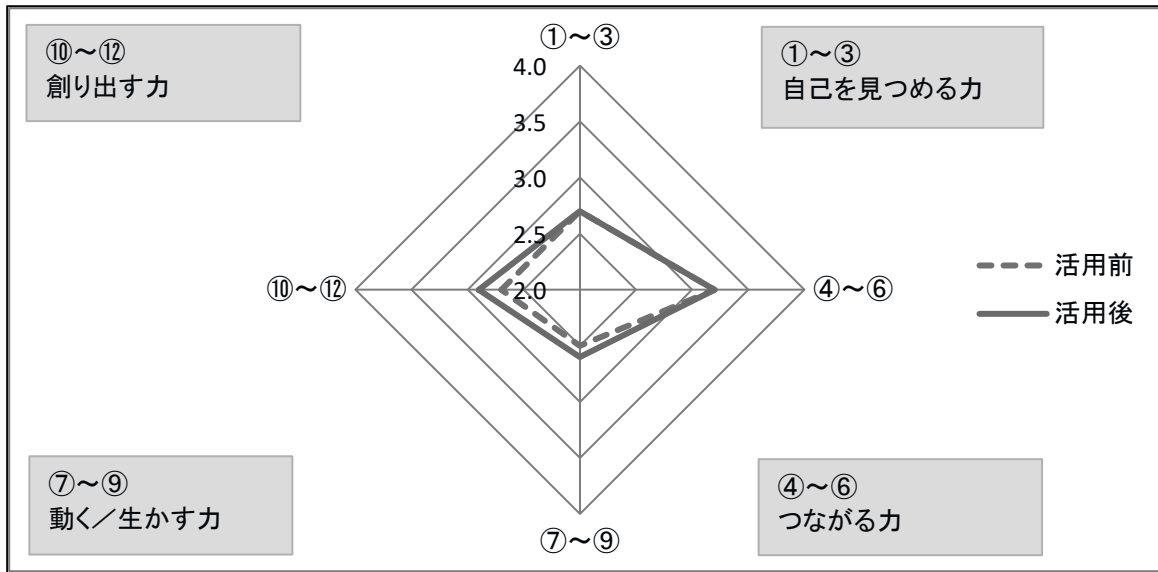
◇ 以下の回答は学習評価に反映されるものではありません。あなたの普段の生活（授業や部活動、家庭での生活などを含む）を振り返って、当てはまる番号に○をつけてください。

4：当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：当てはまらない

自己を見つめる力					
①	自分の良さを見つけることができますか。	4	3	2	1
②	身近な人に将来の夢や目標を伝えることができますか。	4	3	2	1
③	将来の夢や目標を実現するために、取り組むべきことが分かりますか。	4	3	2	1
つながる力					
④	自分から進んで他者とつながりを持ちたいと思いますか。	4	3	2	1
⑤	相手の考えや気持ちを受け止めようとしていますか。	4	3	2	1
⑥	周囲と力を合わせて行事などを成功させたいと思いますか。	4	3	2	1
動く／生かす力					
⑦	現在の学習や生活をより良くするために工夫をしていますか。	4	3	2	1
⑧	不得意なことや苦手なことでも諦めずに続けていることはありますか。	4	3	2	1
⑨	将来の夢や目標の実現に向けて、資料や情報の収集をしていますか。	4	3	2	1
創り出す力					
⑩	自分なりに工夫して頑張っていることはありますか。	4	3	2	1
⑪	自分から役割や仕事を見つけたり、友達と仕事を分担して活動することができましたか。	4	3	2	1
⑫	見通しを持って計画的に進めたり、その手順について改善をしたりしていますか。	4	3	2	1

各学年における調査結果は以下のとおりである。

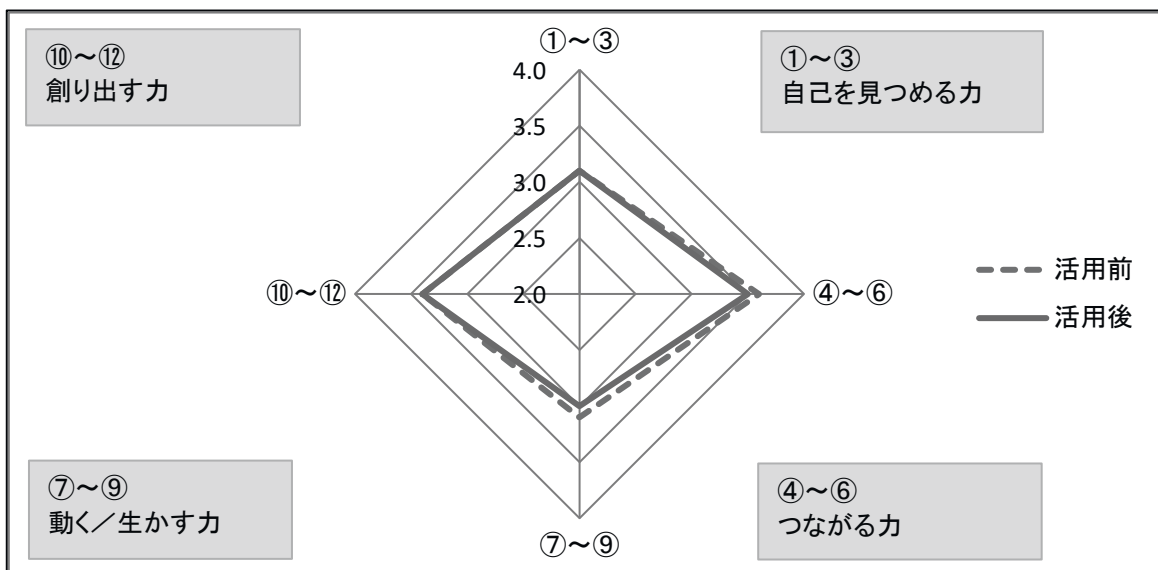
(1) 1学年（実施クラス数：4クラス 回答者数：事前76名、事後64名）



自分自身を客観的・肯定的に見つめ、自己をコントロールして主体的に学んだり行動できる意識（自己を見つめる力：2.7ポイント）に目立った変容は見られなかった。また、他者と自分を取りまく環境（社会）や将来を見通した生き方（未来）との関わりを考えて積極的につなげていこうとする意識（つながる力：3.2ポイント）は、もともと高い傾向にあった。

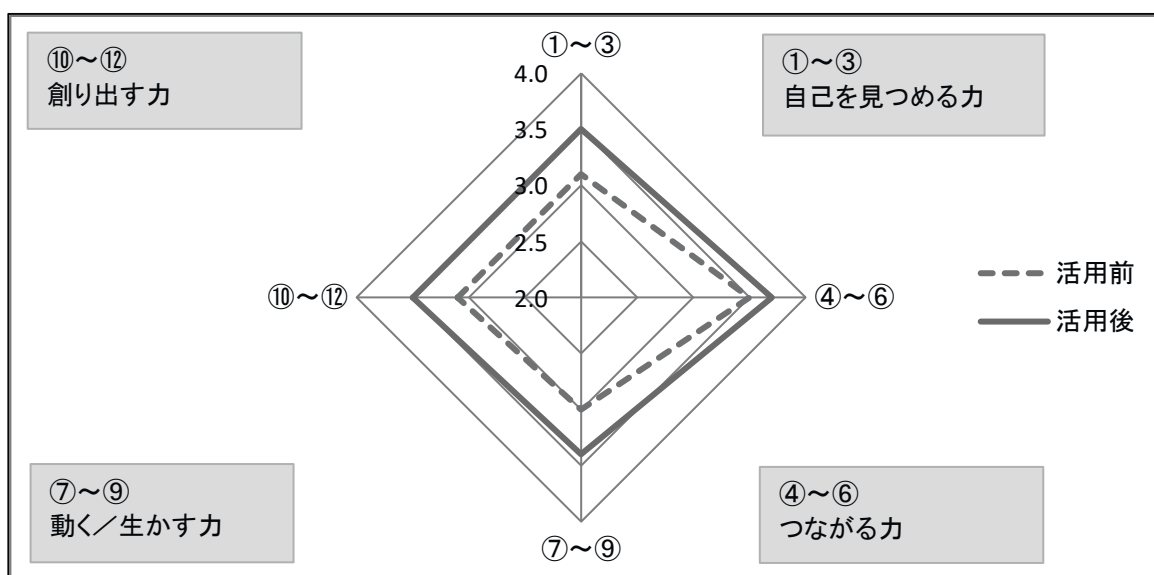
キャリア・パスポートの活用後、生活する中で課題を発見・分析して計画を立てようとする意識（動く/生かす力：2.5ポイント→2.6ポイント）と、他者と協力して活動し、見通しを持って物事を計画的に進めようとする意識（創り出す力：2.7ポイント→2.9ポイント）については、ポイントの向上が見られた。キャリア・パスポートを活用して、中学生の頃と現在とを比較し、自分が成長できた点を振り返るとともに、2学年への進級に向けて新たな目標を立て、どのように行動していくのかを考える活動は、キャリア形成を進めていく上で有効だと考えられる。

(2) 2学年（実施クラス数：6クラス 回答者数：事前162名、事後161名）



1 学年と比較すると、事前アンケートにおいて、全ての項目が 3.0 ポイント以上となっており、一年間の学校生活における経験や行事等を通して、キャリア形成が進んでいるものと考えられる。しかし、キャリア・パスポートの活用後の事後アンケートにおいては、全ての項目においてポイントの伸びが見られなかった。その要因として、新型コロナウイルス感染症の拡大による修学旅行の中止や学校祭の縮小等、社会とつながる活動や主体的に計画を立てて活動する機会が制限されたことなども影響しているものと考えられる。今後は感染防止対策を行った上で、社会とつながって将来の生き方を考える機会や他者と協力して主体的に活動する機会等を設ける工夫が必要だと考える。

(3) 3 学年 (実施クラス数 : 3 クラス 回答者数 : 事前 88 名、事後 85 名)



事後アンケートにおいて、全ての項目でポイントの伸びが見られた。キャリア・パスポートを活用し、卒業後の進路や夢について具体的に考えるようになり、目標の実現に向けて主体的に活動することができた生徒が増加したものと考えられる。卒業後の進路を目前に、キャリア・パスポートを活用して、やりたいことや将来の仕事を具現化し、そのために今やるべきことを書き出す活動は、キャリア形成を進める上で有効だと考えられる。

以上のように、事前・事後アンケートによる調査結果から、各学年において段階的にキャリア・パスポートを活用して、自らの学習状況や意識の変容等を振り返って自己評価を行うことは、主体的に学びに向かう力及び自己実現につなげようとするキャリア形成を促すものと考えられる。今後も各校において、より早い学年段階からキャリア形成がなされるように、キャリア・パスポートの積極的な活用をお願いしたい。

## 5 各校におけるキャリア教育推進に向けた特色ある取組事例

### (1) 青森県立青森高等学校

#### ① バーチャルユースフォーラム

##### ア 目的

将来、社会に出て仕事をする際、必ず要求される能力「企画力」「論理的思考力」「調整力」「コミュニケーション能力」「批判的思考力」「協調性」を高める。

##### イ 取組の概要

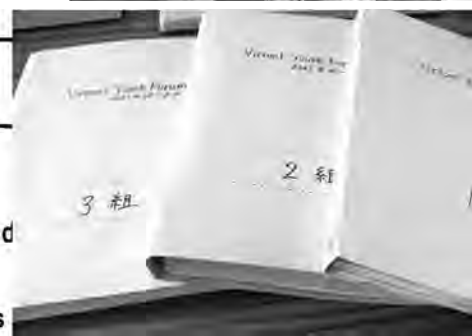
世界各国から高校生約40名が集まる、5泊6日のユースフォーラムを、バーチャル企画する活動。クラス毎に活動を行い、最後は審査会でプレゼンテーションする。約4か月間かけて行う、PBL（問題解決型学習）である。

与えられた1枚の条件書を元に、ユースフォーラムの企画をする。組織づくり・予算立て・フォーラムの内容と日程作成・会場予約・移動手段確保・食事ケア・部屋割・講師選定とその依頼・来賓参加依頼・協賛金獲得等、主催者が行うべき業務を網羅する。条件書で設定されている参加者は、アレルギー保持者・ビーガン・ムスリム・ヒンドゥー教徒・車椅子利用者等様々な配慮を要する。また、条件書に特記されていないが、日本入国に際しビザ申請を要する国籍の参加者も含まれている。さらに、本校教員が扮する講師や来賓(知事や大臣、参加国の大使等)の要望は多様で、期間中に県内観光を希望する者もあり、対応が必要となる。



英語で作成したワークショップ進行原稿

Workshop chairmanship draft <No Poverty>	
5/1	<p>9:00 Hello everyone. Thank you for visiting Youth Forum from far place. My name is ○○ and I will act as chairmanship for three d Nice to meet you. In this Youth Forum,High school students in 20 countries I will have you think about "No Poverty" ,one of Sustainable Development Goals. The goal is making proposals about what we can do now and in the future. Then, you will do three things.</p>



各クラス作成資料は200ページにも及ぶ



様々な課題を解決しながら、現実的かつ実現可能性が高く有意義なプランの提案書を作成し、最後は審査員の前で企画のプレゼンテーションを行い、審査を受ける。

## ウ 取組の成果

### 【生徒の振り返りより】

・初めは企画の規模の大きさに少し困惑した。“役割分担”と“責任”と言ってもこの企画に対する熱量にはそれぞれ差があり、パソコンによる文書作成や公文書の形式に関する基礎知識もほとんどない状態からのスタートで、自分にできることは何か、自分の持つ生かせるものは何かを考え、将来求められるであろう“社会人としての在り方”に近づけることができたと思う。放課後や休日の作業も含め、大変な時もあったが、有意義な時間だった。

・今までみんなで活動するといったことは何度もやってきたが、これほど難しい課題に挑戦したことは今までになく、初めての経験だった。たくさんの方が協力し、分担するのは難しいと思った。今回は指示されて動く立場だったが、指示する立場の方々は相当な苦勞をしていたと思う。いつか自分も指示できるスキルを身に付け、社会で通用できる人になりたいと思った。

・そこまで大変なことではないのかなと思っていたが、いざ始めるとなると、かなりの時間と、細かなところまで考慮できる論理的思考力と想像力、そして集中力が要求され、内容がいかに高度なものなのかを思い知らされた。しかし、その過程で、これまでの普通の学習では得たり伸ばしたりすることができない様々な力を定着させることができ、将来仕事で企画を行うための良い予行演習になったと思う。

・自分の視点だけでなく、他の人の視点になることが大事だということ。自分では気づかない部分も他の人が気付いていたりするので、だから人間は一人じゃないってことが分かった。



図書学習センターで審査員を前に発表

・仕事を進める上で鍵となるのはやはり計画段階であるということを知った。その計画が実現可能なのか、どのようなことが起こりうるか、全体に仕事が回っていくのかを綿密に考慮しなければ、実際に仕事を始めた際に計画からずれていってしまい、仕事が効率的に進まなくなってしまうと思った。

・今回のバーチャルユースフォーラムで、実際に自分が社会に出て働くということはこれほどの大変なことの連続で、ひとつのイベントを開催するのにどれだけの時間と労力が必要なのか理解でき、非常に良い経験となった。将来社会に出たら、この経験を活かしてあらゆる視点から物事を見ることを意識して、活躍できるように頑張りたい。

・経理として活動し、他の班との連携、情報の共有がいかに大切かわかった。どこの部屋を借りて何時間使用するのか、何が何人分必要なのか、細かいところまで費用を計算し、またオーバーしたお金をどうやって工面できるか、先のことを考えて取り組まないといけないことを学べた。

## エ 今後の課題

上記の生徒の振り返りにもあるように、生徒達は大変熱心にかつ真剣に取り組み様々な経験を積むことができる。主導する探究学習部では、毎年振り返りをもとに内容を改良している。課題は、担当者に入れ替えによる質の維持であろう。

## (2) 青森県立弘前高等学校

### ① 進路講話

#### ア 目的

世界や日本の最先端で活躍している方の講演を聞き、社会へ目を向け、将来の生き方を考える機会とする。教科・科目の得意・不得意や点数、大学受験だけにとらわれた進路選択をするのではなく、様々な分野から刺激を受けて人間力を向上させ、主体的に進路を考える材料やきっかけとする。

#### イ 取組の概要

世界や日本の最先端で活躍している方を招き、全学年の生徒が対象で講演を聞く。分野を毎年変えて、文系分野→理系分野→分野無し のサイクルを続け、3年間で3人の講演（3つの分野）を聞くことができる。

かなり難しい内容の講演が多いが、質問する生徒が毎年3～8人ほどいる。質問が時間内に終わらずに、放課後に別室で個別に対応し、後日のHRに質疑応答の記録を掲示した年度もあった。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は1学年のみを体育館に入れてリモートで視聴させた。

※令和2年度 東京女子大学教授 黒崎 政男 氏（リモート配信で実施）

演題「木が緑に見えるのは木が緑だからだ、は本当か」

・いろいろなことに疑問を持つ。哲学的に考えることの面白さを聞く。



#### ○主な感想

- ・木が緑色というのは人間の見え方や人間が作った概念である。他の動物には違って見え、緑色という共通認識もない。見方や考え方を180度変えるきっかけとなった。
- ・医師を目指すには勉強が大事であると今までは漠然と考えてきた。これからは、なぜ勉強するのかを考え、自分なりの答えを見つけたいと思う。
- ・自分の先入観や認識にとらわれないことの大切さが分かった。
- ・人間は最終的に役に立たないもののために生きることになると聞いた。人の役に立つことは大事だと思うが、自分が心からやりたいことを将来的に見つけられたらよいと思う。

※令和元年度 JFAナショナルトレセン東北地域チーフコーチ 手倉森 浩 氏  
演題「夢を叶えるために」～幸せになるコツ～

- ・サッカーや東日本大震災などから学んだことがある。モチベーション維持のコツを聞く。

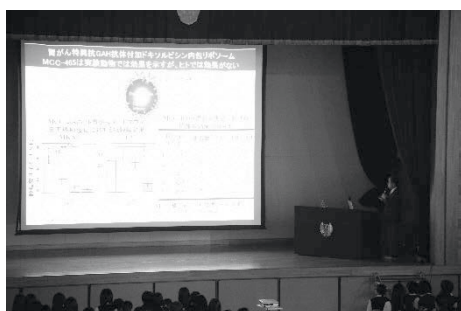


○主な感想

- ・可能性を引き出すのに必要な要素として、楽しい(情熱)・信念・努力(行動)が挙げられていて、割と簡単なことだと思った。サッカーの話をも具体的に話されていて分かりやすいと思った。
- ・人のせいにならず、自分の行動に責任を持ち行動した結果の方が、自分にとって最も納得のいくものになるということ学ぶことができた。
- ・環境や他人は変えることができないが、自分を変えることはできるという言葉が印象に残った。

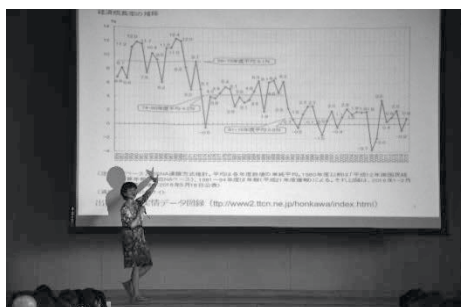
※平成30年度 国立がん研究センター先端医療開発センター新薬開発分野長 松村 保広 氏  
演題「がん研究をふり返って考えること」

- ・ノーベル賞受賞級の研究について。愚直に研究する素晴らしさを聞く。



※平成29年度 東京大学大学院教育学研究科教授 本田 由紀 氏  
演題「日本社会の変容と教育の課題」

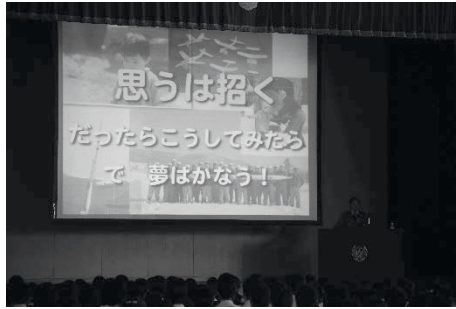
- ・やりのぐいの搾取などの言葉を生み出す。現代社会に対する意見を聞く。



※平成28年度 株式会社植松電機専務取締役 植松 努 氏

演題「思うは招く」～夢があればなんでもできる～

- ・下町の工場からロケットを！夢を実現させるまでの体験を聞く。



ウ 取組の成果

- ・質問の内容やそれに対する講師の回答も、理解を深める効果があり、積極的に関わろうとする生徒がいる。
- ・講演により生徒全員が劇的に変化するわけではないが、アンケートや感想から、自分の人生観や将来を考える上で効果があると感じる。
- ・講演後に毎日の生活が少し変わる生徒を見ると、進路や将来によい影響を及ぼしているものと思われる。

○自己評価（アンケート）結果

- ・「講演の内容は、自己の生き方、在り方を考える参考になった。」という項目において、最もよいと回答した生徒の割合が約80%と高くなっている。

エ 今後の課題

- ・進路講話を実施する前に、事前指導を行った方が効果的だと感じている。
- ・教科の学習や大学受験の話が出ないという少数意見がある。目的にもあるように、「進路講話は人間力を向上させ自己の生き方や在り方を考えるものであり、大学入試でどのように合格をするかという話ではない。」ということを事前に説明しておく必要がある。
- ・事後指導でHR担任が感想を話したり、生徒と意見交換したりすることも効果があると思われる。  
(例)「弘前高校の生徒に当てはめるとどうだろうか。」など。
- ・学年団の教員(特にHR担任)が進路講話の意義を理解し、事前指導で生徒にどのように伝えるか考える必要がある。

## ② 弘高祭（弘高ねぶた制作と前夜祭ねぶた運行）

### ア 目的

弘高ねぶたの制作と運行をとおして、自己と他者を理解し、協働して一つの物事を成し遂げる大切さを学ぶ。また、弘前のねぶた祭の伝統・文化・郷土史を知り、弘前高校の歴史・伝統・魂を学び体感する。地域社会にどれだけ支えられ、貢献できるかを自分事として考え、人間力を上げて主体的に進路を考える材料やきっかけとする。

### イ 取組の概要（写真は2019年度の実施状況）

学校行事として弘高ねぶたを制作している。午後の時間や放課後を使い、各HRの制作責任者を中心に自主的に作業をしている。約2週間かけて各HRで1台の弘高ねぶたを作り上げる。



<ねぶた小屋・木材で土台作成>



<配線作業：電球・ケーブル・ハンダ>



<針金で人形を作り和紙を貼る>



<墨・蠟・染料で絵を描く>



<太鼓の締め付け作業>



<完成>

運行には警察や警備会社に協力をお願いしている。弘前市内を運行しており、土手町を中心に、保護者や地域住民、弘前ねふた&弘高ねふた好きが集まる。多くの方々に支えられて運行をすることができている。



<出陣：警察や警備会社の協力>



<土手町中三前の様子>



<前灯ろう・生徒・本体・囃子>



<土手町に各HRのねふたが続く>

## ウ 取組の成果

### (ア) 弘高ねふた制作時の成果

- ・各HRの生徒約40名が、土台・人形・絵・配線の係に分かれ、HR理事や制作責任者が中心となり、約2週間で制作する。それぞれの考え方が異なるため、最初はうまく連携できない。仲間を思いやり、根気強く話し合いをして調整することにより、少しずつ仲間と連携して制作していく。
- ・生徒が必要に応じて自主的に教室やねふた小屋などに集まることを呼び掛けて、進捗状況の確認、修正や人員配置の変更を行う。教員の指示がなくとも、話し合いをしようとチャレンジする姿勢が出てくるのが素晴らしい。
- ・運行日時が決まっているため、最終日が近づくにつれて全員ができる作業を自主的に行うようになる。
- ・弘高ねふたにかける思いに温度差があるのは仕方がないことであるが、そのような中で他者と協働する姿勢を学ぶことができている。

### (イ) 弘高ねふた運行時の成果

- ・弘高祭の前夜祭として弘高ねふたの運行を行っている。今まで苦勞して制作した弘高ねふたを誇りに思い、各HRで「前灯ろう・引き手・本体・太鼓等の囃子」という構成で市内を練り歩く。
- ・各HRの仲間が一体感を味わうことができる大切な時間である。

- ・運行時に、警察や警備会社の方々、弘高教職員などの協力を目にする中で、たくさんの支えがあることを実感し、気付きや感謝の心を育てることにつながっている。
- ・弘高ねふたを楽しみにしている地域住民が運行を見に来てくれる。地域にどれだけ貢献できるかを感じるきっかけとなる。また、期待の大きさも感じる事ができている。
- ・弘高ねふたの制作と運行をとおし、他者と協働することで成長が見られる。我慢や配慮、思いやりの心が育つ。3年かけて少しずつ大人になっていく様子が見られる。

#### ○実施後の主な感想

- ・長い間受け継がれてきた弘高ねふたの伝統を、弘高生の自覚を持ち、引き継いでいくことにより、よりよい弘高にすることができると思う。
- ・土台を作り終わった時や、人形を台上げした時の達成感は、今までにないぐらいに大きいものだった。クラスの人と協力して作ることができた証拠だと思う。
- ・決められたルールをしっかりと守りつつ、自分たちで出せる最大限の力で弘高ねふた制作の仕事を全うすることが大切だと思う。
- ・地域の方や見物している多くの方が、一緒に「ヤーヤドー！」を言ってくれたり、手を振ってくれたりして地域の一体感を感じる。
- ・弘高ねふた制作期間は疲れが溜まり、勉強が疎かになってしまった。来年度の弘高ねふた制作では、もっとけじめをつけて勉強にも取り組みたい。
- ・時間があるときに自分から作業を探すことができた。また、作業の指示をどのように出すと相手に伝わるか少し理解できた。
- ・勉強や部活で忙しい中でも、弘高ねふたを作ることで、時間の使い方をよく考えるようになり、また最後まで諦めずに丁寧に作ることで忍耐力が鍛えられた。クラス内でも協力し合い、自分だけでなく他人のことを考えるようになった。
- ・運行ルールを守り、警察官の協力を得て市民に迷惑をかけないように運行した。制作時にルールを破って危険な行動を取り、ケガを負わないように安全に留意して作業できた。弘高ねふた制作が当たり前だと思わないで、制作できることに感謝していきたい。

#### エ 今後の課題

- ・多くの生徒が弘高ねふたの制作と運行を楽しみ、意義を感じて成長している。しかし、時代の変化とともに、自分が努力することによりHRに貢献しようという姿勢が見られない生徒も出てきている。なるべく労力をかけずに楽をして乗り切るかを考えている生徒、放課後は自分のために時間を使いたいために早く帰る生徒などもいる。
- ・効率が良いことは大切であるが、目の前の損得や効率で判断し、人間的成長の機会を失っている生徒もいるため、教員がどのように指導するかが課題である。
- ・振り返りを単なる記録の時間ではなく、次の行動にどのように活かすかを意識して行う必要がある。
- ・強制的に生徒を動かしても真の理解や心の成長は望めない。弘高ねふたの制

作と運行を通して、どれだけ自分が成長できるかを考え議論させ、生徒自らの気付きにつなげる仕掛けや声掛けが必要である。



### (3) 青森県立十和田西高等学校

#### ① 地域ボランティアへの参加

##### ア 目的

ふるさと学びやボランティアガイド実習を通し、地域の自然や伝統と文化を大切にし、郷土を愛する豊かな心を育む。

地域の観光資源（十和田湖・奥入瀬溪流）と人財（NPOボランティアガイドの方々）を有効活用し、地域を担う人財を育成する。

地域と連携した体験活動をはじめ様々な教育活動を通じて、学ぶ楽しさを味わわせながら生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てる。

##### イ 取組の概要

1年次に「十和田奥入瀬認定文化観光ガイド養成講座」で奥入瀬溪流の景観美を学ぶ。外部講師（NPO法人「十和田奥入瀬郷(くに)づくり大学」）による講座を全8回×2時間学び、奥入瀬溪流・蔦沼への現地実習（1日）を実施した上で、全生徒が修了試験を受験する。合格者に「十和田奥入瀬文化観光ガイド証」を発行する。

2年次には再度の現地実習や講義を受け、練習を重ねた上で、ボランティアガイドを行う。秋の紅葉・観光シーズンに、奥入瀬溪流を県内外の観光客に紹介し、十和田市の観光資源の魅力を伝える実践活動を行う。

その他、特に観光科を中心として、地域に根ざしたボランティア活動を行っている。（「駅からハイキング」「市内観光ボランティア」「十和田市秋祭り（への参加）」「十和田バラ焼きゼミナールとの協働」など）



##### ウ 取組の成果

〔生徒の感想文より〕

- ・これからは、人とのつながりを今まで以上に大事にしていきたいと考えています。私は就職するので、その行く先々で新しい出会いがあると思います。私はこの活動が大好きでした。たくさんの方と出会い、バラゼミに出会い、B-1に出会いました。今まで真っ白だった私をたくさんの方の色で飾ってくださった皆さんに感謝しています。
- ・今回の活動では、お客様の笑顔がこんなにも嬉しく感じることを初めて知りました。これからの自分の進路でも、多くの方が笑顔になれるようなこと、楽しくなってもらえるようなことをやっていきたいと思いました。

- ・市外、県外から来ている方々が多く、十和田市について聞かれることが沢山ありました。そんなときに、自分は十和田が大好きだという気持ちで自分なりに十和田のPRができたと感じています。多くの方々と挨拶し、コミュニケーションを図る良い機会になりました。
- ・十和田には何も無いと思っていましたが、良いところを見つけることができたので、それを発信できるようにしたいです。進路は県外に行こうと決めていましたが、十和田も良いところがたくさんあるのでしっかり考えて決めていこうと思います。

#### エ 今後の課題

上記の感想にもあるとおり、本校のボランティア活動を通して、当初の目的は十分達成できていると考える。はじめは活動に消極的であった生徒も、地域を再発見したり、誇りを持ち、観光客に案内することなどを通して、観光客から喜びや感動、励ましの言葉など多くのものを得ている。

しかしながら、取り組む活動の多さと中身の濃さに反比例して、フィードバックの機会が少ないことが課題である。一例として、就職試験や学校推薦型選抜等での自己PRの練習において、なかなか上手に自分を表現できないことが挙げられる。本校の生徒の特徴として、自信がない生徒が多いことが挙げられるが、力を入れて活動した内容を他人に熱く語るができない生徒が多いことは意外である。時間数の確保など難しい問題もあるが、活動を振り返る機会を多く持たせていきたい。

#### (4) 青森県立田名部高等学校

##### ① 講演会「THE プロフェッショナル」・地域ボランティアへの参加

###### ア 目的

本校では職業人による講演会「THE プロフェッショナル」の企画と地域ボランティアへの参加を積極的に行い、県教育委員会主催の「高校生スキルアッププログラム認定証」授与につなげている生徒が多い。学校外における学習への積極的な取り組みとレポート作成によって、本校生徒の職業に関する知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的としている。

###### イ 取組の概要

###### (ア) 講演会「THE プロフェッショナル」

年間で8～9名の職業人を招聘し、職業人としての流儀について講演していただいている。講演会の当日運営はすべて生徒の手によって行われている。講演会終了後、レポート作成を行い、活動記録を生徒各自が保管している。



###### (イ) 地域ボランティアへの参加

例年、30件程度のボランティア活動が本校に依頼されており、生徒はそれぞれ興味のあるボランティア活動へ参加している。生徒各自がボランティア活動情報掲示板を確認し、自分で参加申込みをする。ボランティア終了後、レポート作成を行い、活動記録を生徒各自が保管している。



###### ウ 取組の成果

平成23年度から本校では上記2つの活動をキャリア教育の主たる事業として継続している。その成果として、生徒が幅広い知識や社会性を身に付けることができたとともに、企画力や行動力、プレゼンテーション能力等、様々なスキルの向上が以前より顕著に見られるようになった。進学・就職試験の際に行われる志望理由書作成や面接試験において非常に成果が表れており、合格率も向上している。

###### エ 今後の課題

高校入学後から多くの生徒が積極的に参加しているが、レポート作成とその蓄積のみに留まる生徒が多いのが現状である。諸活動から学んだことや身に付けたこと

を、将来どのように生かしていくかについて自らの言葉でプレゼンテーションを行う段階までには至っていない。今後は、当該年度が始まる段階でこの取組の意義を生徒に理解させ、定期的に諸活動を振り返りながら企画力や行動力、プレゼンテーション能力等のスキル向上を図りたい。

## (5) 青森県立十和田工業高等学校

### ① 地域ボランティア（小学生ものづくり体験教室）への参加

#### ア 目的

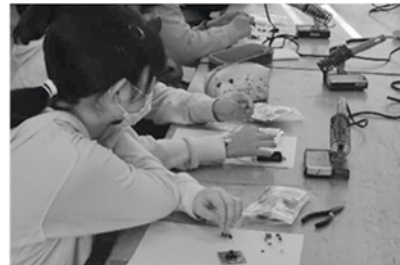
本校の教育目標は、自ら主体的に学び、郷土を愛し、勤労を尊び、心豊かで未来を切り拓く調和のとれた産業人を育成することである。小学生の職業教育に資することで、自己の適性を改めて考え、今まで気付かなかった長所を見いだすなど、自己理解の深化を図る機会とする。また、普段の実習で習得した技術を次世代に引き継ぐ活動の体験により、人とつながる力を養い、郷土の発展に通ずるキャリア形成を目指す。



#### イ 取組の概要

近隣の小学生を学校に招き、小学生の総合的な学習の時間の支援となるべく、各科の特長を生かしたものづくり体験教室を実施している。対象児童は近隣の小学校2校の6年生、述べ152名で、選抜された生徒が児童の支援を行う。生徒は各科の説明では各種の実演をし、ものづくり体験では小学生の製作活動を見守り、細かい注意点を指示するなど個別に支援する活動である。

体験内容は、ミニスピーカー、レーザー彫刻、ソーラーカー等の製作や木材加工等から事前に選択したもので、専門的かつ本格的なものである。



#### ウ 取組の成果

キャリア・パスポートの記述に、「予想外にうまく教えることができ、指導することに喜びを感じた」「自分のコミュニケーション能力に自信を持つきっかけになった」「将来、職場での人間関係の構築に不安がなくなった」といった肯定的な感想が多くみられた。小学生に教え、感謝される経験によって、自己の在り方生き方について考えを深める良い機会になったと思われる。

#### エ 今後の課題

地域との連携によるキャリア支援体制を充実させつつ、各教科・科目や特別活動等、学校の教育活動全体でキャリア教育との関連や接続を整理することが必要である。特に、振り返りの時間を確実に設定し、生徒が成果を実感できる内容に具体的に落とし込み、対話や共有を通して、自分の進路や将来の生き方について考えを深めさせていくことが必要である。

## (6) 青森県立黒石商業高等学校

### ① 企業学校見学会

#### ア 目的

地域企業や上級学校を見学し、さまざまな職業の実態や各校の特徴を理解することで、主体的に進路を選択する能力を養う。

#### イ 取組の概要

〈企業見学会〉 ※ 3 コース設定

- ①(株)アグリーンハート → (株)マルサ佐藤製作所 → (株)アップルランド南田温泉 → Angeline 弘前店
- ②北村技術(株) → もりやま園(株) → 三光化成(株)弘前工場 → 社会福祉法人弘前豊徳会
- ③青森県警察学校 → 北洋硝子(株) → 青森昭和電線(株) → (株)青南商事

#### 【企業見学一例】



〈学校見学会〉 ※ 2 コース設定

- ①青森公立大学 or 青森中央学院大学 / 青森中央短期大学 / 青森中央経理専門学校 → あおもりコンピュータ・カレッジ or 青森県ビューティ&メディカル専門学校
- ②弘前医療福祉大学 / 弘前医療福祉大学短期大学部 → 青森県ヘアアーティスト専門学校 / S. K. K. 情報ビジネス専門学校 or 東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校

#### 【学校見学一例】



## ウ 取組の成果

下記に示したアンケート結果や感想から、生徒たちは概ね目標を達成できたものと思われる。主体的な進路選択の一助となったことがうかがえる。

〈企業見学会 生徒アンケートより〉

1：満足 2：やや満足 3：普通 4：やや不満 5：不満

1：28名、2：13名、3：4名（4、5なし）

○主な感想

- ・自分の知らない企業を見学して、人のため、環境のためなどに頑張っている方々を見て、自分ができることは何かを考えさせられました。今回の企業見学を生かし、来年の就職試験を頑張りたいと思いました。
- ・今回見学した企業には共通していた部分があり、それはお客様のためにこの仕事をしているという点でした。自分のやっている仕事为谁かのためになるということが誇りだとも言っていて感銘を受けました。仕事を続けるためには、やはり好きなことや自分の得意とすることを発揮できる場所がよいと思っていましたが、でも、別にそういう場所でなくても、何かに誇りをもって、やりがいを感じる場所であったら良いのかなと思いました。

〈学校見学会 生徒アンケートより〉

※学校見学会では5段階評価のアンケートは実施しておらず、感想のみ。

○主な感想

- ・学校見学会に参加して、課外活動が多く、目指している職の具体的な内容を詳しく学ぶことのできる優れた学校だと感じました。また、大学の敷地内に、老人ホームと幼稚園も完備されていて驚きました。ワークショップも豊富で、授業では体験できないプロの方の講座もあると言っていたので、技術的なことをより本格的に学ぶことができ、今後の就職にプラスになると思いました。
- ・あおもりコンピュータ・カレッジでは、最初に学校の説明を受けました。この学校の機器は国の予算で導入されているということに驚きました。説明を受けた後に、生徒さんの作品を見せてもらったり、VRの体験をしたりしました。しかし、この学校の目的は、ゲームを作ることではなく、資格取得がメインであるということから、就職に強い学校だと分かり、参考になりました。

## エ 今後の課題

- ・現在は、見学会後に生徒たちにアンケート及び感想を書かせて終了しているが、コースごとに見学内容や学んだことなどを全体の前で発表させるようなフィードバックの機会があれば、より一層進路に対する意欲喚起につながるのではないかと思う。
- ・事前に各自見学する企業や学校を調べさせたが、積極的に質問をすることができない。主体的に行事に参加し、積極的に見学場所の方々とコミュニケーションを図る姿勢を養いたい。
- ・各学校や企業の繁忙期を避けた実施時期が望ましいため、本校の行事や考査期間との調整が難しい。今年度は特に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、進路指導部は、例年以上に調整が大変であった。

## (7) 青森県立尾上総合高等学校

### ① 「社会人ライフプラン講話」の実施

#### ア 目的

社会の変化に伴い、職業や働き方等が多様化し、既存のキャリアには縛られない新しいキャリア観が生まれている。一方で、生徒は家庭と学校とだけでしか大人と関わる機会がないため、様々な働き方や人生観・職業観に触れる機会がない。この乖離を埋めるため、そして自分のこれからの生き方に展望を持つきっかけとするために様々な職業・職歴の方々を講師として招き、講話をしていただいている。講師の方には職業紹介にとどまらず、これまでの自身の生き方や失敗談、ライフステージ上の転機や困難等も語っていただくようお願いしている。

#### イ 取組の概要

今年度は13名の講師（介護、NPO法人、企業経営者、建設業、農業、美容師、ファイナンシャルプランナー、パラレルキャリアを実践している方等）を招聘した。事前に生徒にどの講師の話を知りたいかアンケートを取り、当日は2人の講師の話聞く。講師はそれぞれの教室で1回50分の講話を2回行う。



#### ウ 取組の成果

生徒の感想として、「本質を見る目を養うことが人として、仕事をする上で必要になってくることが分かった」「『夢』がなくても人生を楽しむことができる」と知った」「遠回りにも価値があると分かった」「やらない言い訳はいくらでもできる、という言葉が心に残った」などが寄せられた。生徒は毎年メモを取りながら真剣に講話を聞いている。社会人講師の今までの人生経験が生徒の心に響いているのではないかと感じられる。

#### エ 今後の課題

キャリア教育は進路指導としての出口教育の側面もあるが、「この先どう生きていくのか」に主眼が置かれている教育である。この行事は本校生徒にはとても価値があると考え、ただの職業講話ではなく様々な社会人の生き方を知るために実施しているという趣旨をしっかりと教員に浸透させ、形骸化しないようにする必要がある。



10:10~ 講話①(前半) 講話 40分+質疑応答・感想記入 10分

メモ 以下の質問に答えられるように、必要な情報をメモしよう
講師の先生はどんな人でしたか? 簡単に教えてください
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!

11:10~ 講話②(後半) 講話 40分+質疑応答・感想記入 10分

メモ 以下の質問に答えられるように、必要な情報をメモしよう
講師の先生はどんな人でしたか? 簡単に教えてください
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!

11:10~ 講話②(後半) 講話 40分+質疑応答・感想記入 10分

メモ 以下の質問に答えられるように、必要な情報をメモしよう
講師の先生はどんな人でしたか? 簡単に教えてください
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!

10:10~ 講話①(前半) 講話 40分+質疑応答・感想記入 10分

メモ 以下の質問に答えられるように、必要な情報をメモしよう
講師の先生はどんな人でしたか? 簡単に教えてください
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!
講師の先生は、思ったこととどのように異なりましたか? 印象に残った言葉、感想を書きましよう!
自分の人生に役立つ事と想ったこと、印象に残った言葉、感想を書きましよう!



## 令和元・2年度 地域と連携したキャリア教育推進事業

### キャリア形成育成プログラム ワーキンググループメンバー

\*所属は当時のもの

県立青森高等学校	教諭	大里 智子 (令和元・2年度)
県立青森北高等学校	教諭	鈴木 知絵 (令和元年度)
県立弘前高等学校	教諭	寺山 明哲 (令和元・2年度)
県立十和田西高等学校	教諭	中島 高広 (令和元・2年度)
県立三本木高等学校	教諭	熊谷 明子 (令和元年度)
県立田名部高等学校	教諭	工藤 資基 (令和元・2年度)
県立十和田工業高等学校	教諭	和田 寿博 (令和元・2年度)
県立黒石商業高等学校	教諭	平川 未奈 (令和元・2年度)
県立尾上総合高等学校	教諭	石岡 健一 (令和元・2年度)
県教育庁生涯学習課	指導主事	一戸 陽介 (令和元年度)
県教育庁生涯学習課	指導主事	小田川周平 (令和2年度)
県教育庁学校教育課	指導主事	三橋 央尚 (令和元・2年度)
県総合学校教育センター	指導主事	平井 裕 (令和元・2年度)
県総合学校教育センター	指導主事	畑山 紘輔 (令和元・2年度)
県総合学校教育センター	指導主事	田中 孝幸 (令和元・2年度)
県総合学校教育センター	指導主事	池田 晋平 (令和元・2年度)

### キャリア形成育成プログラム 事務局

\*所属は当時のもの

県教育庁学校教育課	指導主事	中川 伸吾 (令和元年度)
県教育庁学校教育課	指導主事	今 武範 (令和2年度)
県教育庁学校教育課	指導主事	須藤 典子 (令和2年度)



令和元・2年度  
地域と連携したキャリア教育推進事業  
キャリア形成育成プログラム 指導事例集

令和3年3月

青森県教育委員会

※本冊子の内容は、青森県教育委員会ウェブサイトに掲載しています。

